「新型コロナウイルス等の感染症及び自然災害による高齢者を対象としたごみ出し支援制度への影響調査」
アンケート結果

目 次

1. アンケート調査概要	1
2. アンケート結果(単純集計)	2
3. アンケート結果(クロス集計)	22
4. 参考(アンケート調査画面)	62

1. アンケート調査概要

■調査目的

昨今の新型コロナウイルス等の感染症流行や激甚化する自然災害により、高齢者のごみ出し支援に 支障が生じていないかを把握するため、全国の地方公共団体における高齢者を対象としたごみ出し支 援への影響等を調査した。

■調査概要

・アンケート名:「新型コロナウイルス等の感染症及び自然災害による高齢者を対象としたご

み出し支援制度への影響調査」

・調査方法 : ウェブアンケートによる調査、回収

・実施期間 : 2021年2月4日(木)に環境省より都道府県宛てにメール送信し、2021年

2月19日(金)を締切として、事務局へ提出

依頼数 : 1,741 件有効回収数 : 1,197 件有効回答率 : 68.8%

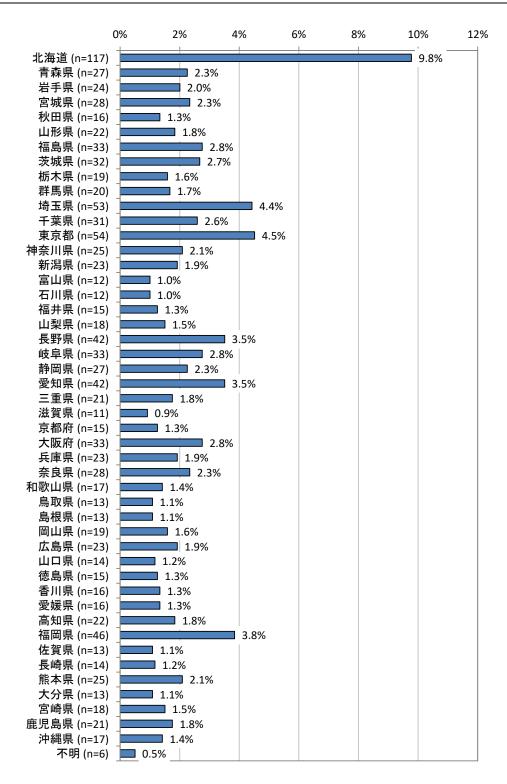
• 実施主体 : 環境省

2. アンケート結果(単純集計)

2. 1 高齢者を対象としたごみ出し支援の実施状況等について

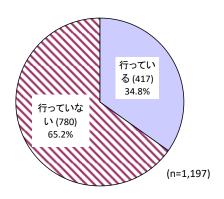
Q1 貴自治体の「全国地方公共団体コード(半角6桁)」をご記入ください。

回答した自治体数について、全国地方公共団体コードをもとに都道府県別に集計すると、北海道が 117 市区町村と最も多く全体の 9.8%を占める。



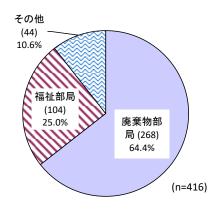
Q2 貴自治体は、「高齢者を対象としたごみ出し支援」を行っていますか(令和3年1月現在)。 (単回答)

アンケートに回答した 1,197 自治体中、令和 3 年 1 月時点で高齢者を対象としたごみ出し支援を「行っている」と回答した自治体は全体の 34.8%である。



Q3 Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」の主な担当部署は、どちらですか。(単回答)

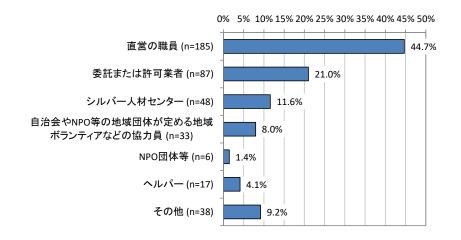
高齢者のごみ出し支援を行っている自治体について、高齢者のごみ出し支援の主な担当部署は「廃棄物部局」が 64.4%、福祉部局が 25.0%である。



「その他」の内容として、廃棄物部局と福祉部局の両方(13件)、社会福祉協議会(11件)、自治体のその他の部署(7件)、一部事務組合(4件)、地域包括支援センター(1件)等が挙げられた。

Q4 Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」はどなたが行いますか。(単回答)

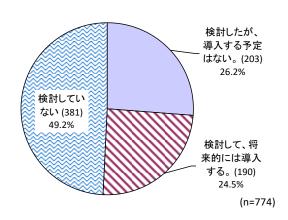
高齢者のごみ出し支援を行うのは、「直営の職員」が 44.7%で最も高い。次に、委託または許可業者 が 21.0%、シルバー人材センターが 11.6%である。



「その他」の内容として、直営の職員と委託業者(11件)、近隣住民や市民、ボランティア(7件)、社会福祉協議会職員(4件)、民間事業者(2件)等が挙げられた。

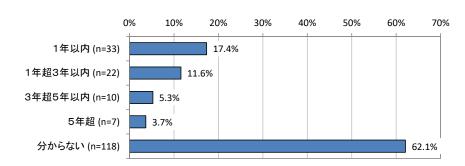
Q5 Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っていない」と回答された方にお聞きします。高齢者を対象としたごみ出し支援制度の導入を検討したことはありますか。(単回答)

高齢者のごみ出し支援を行っていないと回答した自治体では、制度の導入を「検討していない」と する自治体の割合が最も高く 49.2%である。「検討したが、導入する予定はない」は 26.2%、「検討 して、将来的には導入する」は 24.5%である。



Q6 Q5. で「検討して、将来的には導入する。」と回答された方にお聞きします。具体的な導入時期は何時頃でしょうか。(単回答)

将来的に高齢者のごみ出し支援制度を導入する自治体について、具体的な導入時期をみると「分からない」が62.1%で最も高く、「1年以内」が17.4%、「1年超3年以内」が11.6%である。3年以内に導入を検討している自治体が約3割を占める。

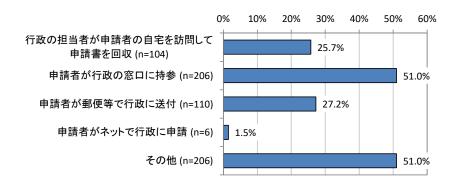


2. 2. 新型コロナウイルスに対する感染防止策について

「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」を導入している自治体に新型コロナウイルスに対する 感染防止策をお尋ねします。

Q7 申請者本人(ごみ出し困難な高齢者)が、「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の申請を 行う場合、新型コロナウイルス禍以前では、どのような「利用申請の方法」でしたか。(複数回 答)

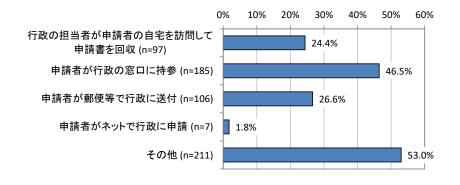
コロナ禍以前の利用申請の方法についてみると、「申請者が行政の窓口に持参」と「その他」が最も高く51.0%、次に「申請者が郵送等で行政に送付」が27.2%である。



「その他」の内容として、ケアマネジャー、町内会、親族等による代理申請(約100件)、社会福祉協議会、地域包括支援センター、シルバー人材センター、民生委員、自治会・町内会等を通じて申請(27件)、申請者が電話やFAXで連絡(約30件)等が挙げられた。

Q8. 申請者本人(ごみ出し困難な高齢者)が、「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の申請を 行う場合、新型コロナウイルス禍以後では、どのような「利用申請の方法」に変えましたか。(複 数回答)

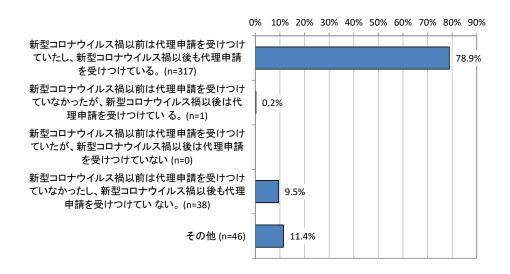
コロナ禍以後の利用申請の方法についてみると、「その他」が 53.0%、「申請者が行政の窓口に持参」が 46.5%である。



「その他」の内容として、コロナ禍以前と変更がない自治体が大部分(約180件)であった。他に、コロナ禍以降受け付けていない、新規申請がない(5件)、制度中止(1件)、自宅前で対応(1件)、郵送又はFAXでも受付けることとした(1件)等が挙げられた。

Q9.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「利用申請」について、申請者本人が「利用申請」できない場合の、代理申請(代理人による申請代行)についてお尋ねします。(単回答)

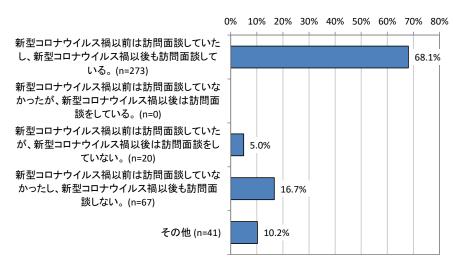
申請者本人が利用申請できない場合の代理申請についてみると、「新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたし、コロナ禍以後も代理申請を受けつけている」が 78.9%と約8割を占める。



「その他」の内容として、町内会や区長、地域団体等が申請を行う制度設計(3件)、登録団体や自治会等の支援団体に申し出をする(2件)、民生委員が聞き取りにより申請書を作成(1件)、地域包括支援センターなどの関係機関の職員が郵送で申請(1件)等が挙げられた。

Q10.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「申請者の面談」について、「訪問面談」の方法についてお尋ねします。(単回答)

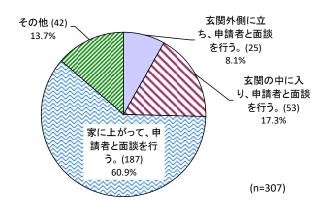
高齢者を対象としたごみ出し支援制度を導入している自治体における新型コロナウイルスに対する 感染防止策として、面談時の訪問面談の方法をみると、「新型コロナウイルス禍以前は訪問面談し ていたし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談している」が 68.1%と最も高い。



「その他」の内容として、緊急事態宣言発出中は新規受付や面談を休止している(4件)、ケアマネジャーやヘルパーが訪問した際に実施(2件)、福祉部局から情報を得る(1件)等が挙げられた。

Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(単回答)

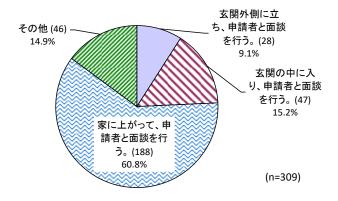
コロナ禍以前に訪問面談を行っていた自治体について、コロナ禍以前での一戸建て住宅における申請者との面談場所をみると、「家に上がって、申請者と面談を行う」が60.9%と最も高く、次に「玄関の中に入り、申請者と面談を行う」が17.3%である。



「その他」の内容として、申請者の希望や生活状況、自宅の状況等により臨機応変に対応している 自治体が多い(約30件)。また、申請者とは面談せず代理人と玄関の外側で面談を行う(1件)等が挙 げられた。

Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(単回答)

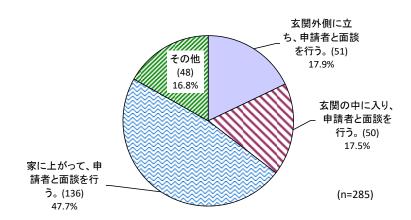
コロナ禍以前に訪問面談を行っていた自治体について、コロナ禍以前での集合住宅における申請者との面談場所をみると、「家に上がって、申請者と面談を行う」が60.8%と最も高く、次に「玄関の中に入り、申請者と面談を行う」が15.2%である。



「その他」の内容として、一戸建てにおける面談場所と同じ(33件)、プライバシーの観点から集合住宅では玄関外での会話は避けている(1件)等が挙げられた。

Q13.~~Q10.~~で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(単回答)

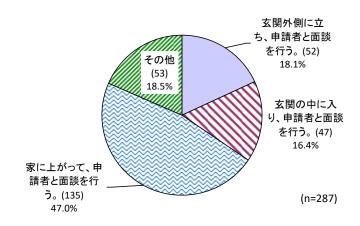
コロナ禍以後に訪問面談を行っている自治体について、コロナ禍以後での一戸建て住宅における申請者との面談場所をみると、「家に上がって、申請者と面談を行う」が47.7%と最も高く、次に「玄関外側に立ち、申請者と面談を行う」が17.9%である。



「その他」の内容として、コロナ禍以前と変更がない(約30件)、申請者や家族の希望により玄関や市役所に来所いただき面談を行う(1件)等が挙げられた。

Q14.~Q10.~で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(単回答)

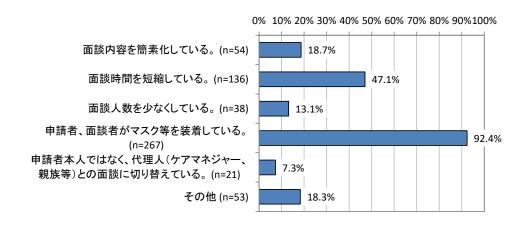
コロナ禍以後に訪問面談を行っている自治体について、コロナ禍以後での集合住宅における申請者 との面談場所をみると、「家に上がって、申請者と面談を行う」が47.0%と最も高く、次に「玄関外 側に立ち、申請者と面談を行う」が18.1%である。



「その他」の内容として、コロナ禍以前と変更がない(約40件)、プライバシーの観点から玄関先での会話は避け、国内や県内単位での警戒レベルと市内の感染状況に応じて、面談日の延期や3密を避ける等の対策を行っている(1件)等が挙げられた。

Q15. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。「訪問面談」について、新型コロナウイルス禍で工夫している取組について、該当する選択肢全てにチェックをして下さい。(複数回答)

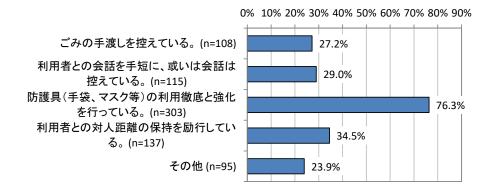
コロナ禍以後に訪問面談を行っている自治体について、訪問面談時における工夫点をみると、「申請者、面談者がマスク等を装着している」が92.4%で最も高い。次に「面談時間を短縮している」が47.1%、「面談内容を簡素化している」が18.7%である。



「その他」の内容として、面談者がゴム手袋の着用や消毒、換気等を徹底する(約20件)、本人やケアマネジャーから事前電話で聞き取りを行う(約10件)、申請者との距離を取る(7件)、面談者の体調管理の徹底(4件)等が挙げられた。

Q16. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「収集・運搬」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「収集・運搬」を行う上での留意点をお尋ねします。(複数回答)

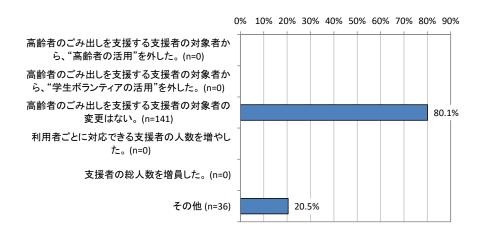
コロナ禍での高齢者のごみ出し支援を実施する上で、収集・運搬時の留意点をみると、「防護具 (手袋、マスク等)の利用徹底と強化を行っている」が76.3%で最も高く、次に「利用者との対人 距離の保持を励行している」が34.5%である。



「その他」の内容として、決められた場所に排出してもらうため利用者との接触がない(約25件)、検温、消毒、換気を徹底する(7件)、利用者の体調把握(2件)、ごみの出し方を注意喚起する(2件)、素手で触れない(1件)等が挙げられた。

Q17. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」で、「直営の職員」や「委託または許可業者」以外の方々に支援して頂いている場合、新型コロナウイルス禍下で、支援者による支援体制を変えていますか。(複数回答)

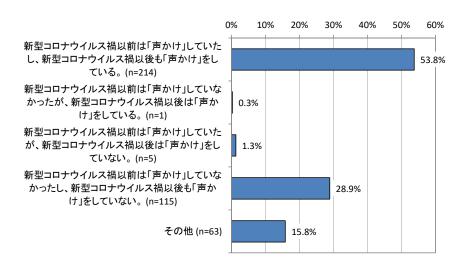
高齢者のごみ出し支援で直営の職員、委託または許可業者以外の方々に支援を受ける場合の支援体制についてみると、「高齢者のごみ出しを支援する支援者の対象者の変更はない」が80.1%である。



「その他」の内容として、直営や委託業者のみで実施している(約20件)、本人が出せない場合は ヘルパー等が指定場所に出している(1件)等が挙げられた。

Q18.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。(単回答)

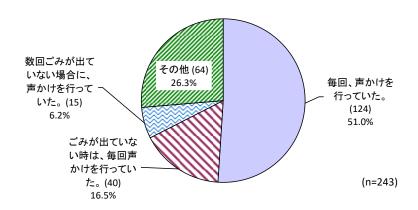
コロナ禍における声かけの運用の変化をみると、「新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしている」が53.8%で最も高く、次に、「新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない」が28.9%である。



「その他」の内容として、コロナ禍以前・以後とも希望者にのみ声かけをしている(約20件)、ごみが出ていない場合は関係機関へ連絡するなどして安否確認をしている(4件)、コロナ禍以後は省略可能な世帯については声かけを休止している(2件)、「連絡プレート」等を活用した安否確認を実施予定(1件)等が挙げられた。

Q19. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。(単回答)

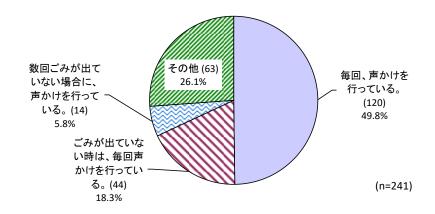
コロナ禍以前に声かけを行っていた自治体について、コロナ禍以前での声かけの方法をみると、「毎回、声かけを行っていた」が最も高く51.0%、次に「その他」が26.3%、「ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っていた」が16.5%である。



「その他」の内容として、希望者にのみ声かけをしている(約40件)、ごみが出ていない場合は関係機関へ連絡するなどして安否確認をしている(5件)、電話による方法で実施(1件)等が挙げられた。

Q20. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。(単回答)

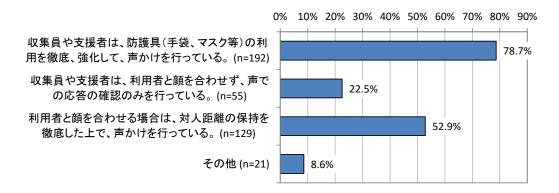
コロナ禍以後に声かけを行っている自治体について、コロナ禍以後での声かけの方法をみると、「毎回、声かけを行っている」が最も高く 49.8%、次に「その他」が 26.1%、「ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っている」が 18.3%である。声かけの方法は、コロナ禍の前後で大きな変化はみられない。



「その他」の内容として、コロナ禍以前と変更はない(約 60 件)が挙げられた。

Q21. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。「声かけ」行う際の新型コロナウイルス禍対策についてお尋ねします。(複数回答)

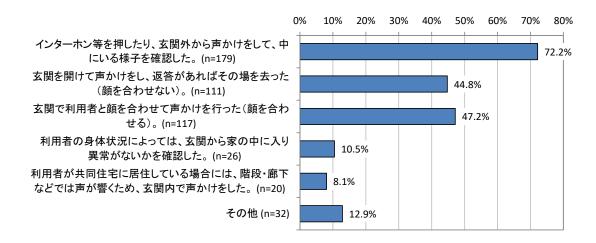
コロナ禍以後に声かけを行っている自治体について、声かけの際の対策をみると、「収集員や支援者は、防護具(手袋、マスク等)の利用を徹底、強化して、声かけを行っている」が 78.7%と最も高く、次に「利用者と顔を合わせる場合は、対人距離の保持を徹底した上で、声かけを行っている」が 52.9%である。



「その他」の内容として、ゴム手袋の着用、消毒や検温の実施(2件)、電話で行う(2件)、窓越しに粉う(1件)等が挙げられた。

Q22. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」行う場所についてお尋ねします。(複数回答)

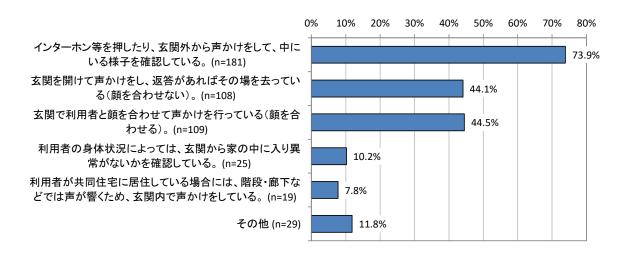
コロナ禍以前に声かけを行っていた自治体について、コロナ禍以前での声かけの場所をみると、「インターホン等を押したり、玄関外から声かけをして、中にいる様子を確認した」が 72.2%と最も高く、次に「玄関で利用者と顔を合わせて声かけを行った (顔を合わせる)」が 47.2%である。



「その他」の内容として、利用者の希望や状況に応じる(5 件)、電話で行う(3 件)、訪問した旨のメモを置いておく(1 件)、外から声かけをする(1 件)、集合住宅における呼び鈴の活用(1 件)等が挙げられた。

Q23. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」行う場所についてお尋ねします。(複数回答)

コロナ禍以後に声かけを行っている自治体について、コロナ禍以後での声かけの場所をみると、「インターホン等を押したり、玄関外から声かけをして、中にいる様子を確認している」が 73.9% と最も高く、次に「玄関で利用者と顔を合わせて声かけを行っている (顔を合わせる)」が 44.5%である。

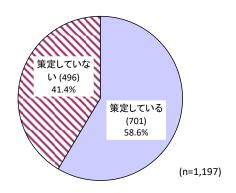


「その他」の内容として、コロナ禍以前と変更はない(約25件)、可能であればドア越しやインターホンで行い、対面で行う場合は一定の距離を確保している(1件)が挙げられた。

2. 3. 自然災害によるごみ収集への影響について

Q24. 貴自治体では、災害廃棄物処理計画を策定していますか。(単回答)

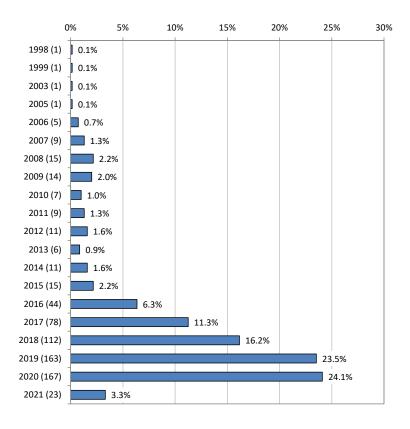
アンケートに回答した 1,197 自治体について、災害廃棄物処理計画の策定状況をみると、「策定している」が 58.6%、「策定していない」が 41.4%である。



Q25. Q24. で「策定している」と回答された方にお聞きします。災害廃棄物処理計画を策定した 年月日を記入して下さい。

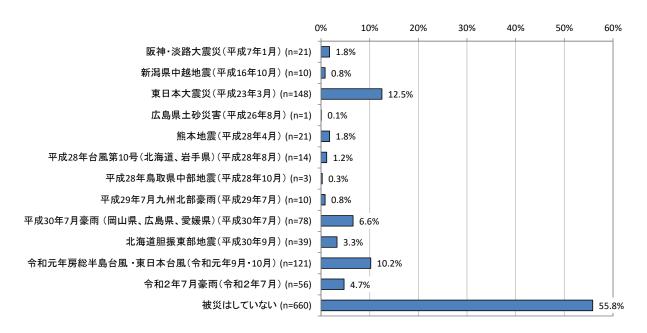
災害廃棄物処理計画を策定している自治体について、災害廃棄物処理計画の策定時期をみると、「2020 年」が 24.1%と最も高く、次に「2019 年」が 23.5%、「2018 年」が 16.2%である。

	<i>⊢</i>	
	午	月
平均	2017.4	4.4
中央値	2019	3
最大	2021	12
最小	1998	1
回答件数	693	683



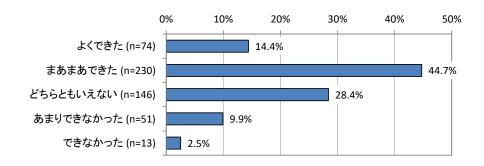
Q26. 貴自治体は、下記に示す大災害に被災しましたか。平成7年以降に発生した「阪神・淡路 大震災」以降の自然災害の内、最も甚大な被害を受けた自然災害をお尋ねします。(単回答)

平成7年の阪神・淡路大震災以降に発生した自然災害への被災状況は、「被災はしていない」が 55.8%で最も高い。被害を受けた自然災害の中では、「東日本大震災(平成23年3月)」が12.5%と 最も高く、次に「令和元年房総半島台風・東日本台風(令和元年9月・10月)」が10.2%である。



Q27. 貴自治体では、Q26. で選んだ自然災害の発生後、初動対応ができましたか。(単回答)

被災した自治体について、発災後の初動対応をみると、「できた(よくできた+まあままできた)」 が 59.1%と約 6 割を占める。「どちらともいえない」は 28.4%、「できなかった(あまりできなかった+できなかった)」は 12.4%である。



Q28. Q27. でご回答した理由についてお尋ねします。下記に、ご自由にお書きください。

初動対応ができたと回答した自治体について、その理由をみると、「仮置き場を迅速に設置できた、災害廃棄物の処理を迅速に行えた」という、災害廃棄物の処理を迅速に行うことができた点が最も多く挙げられた。また、「地域防災計画や災害廃棄物処理計画、マニュアルを策定していた」とする意見、「関係機関との連携や、住民の協力」とする意見も多く挙げられた。初動対応ができなかった回答した自治体について、その理由をみると、「ノウハウがなかった、経験がなかった」という理由が最も多く挙げられた。また、「計画やマニュアルがなかった、備えが

不十分だった」とする意見も多く挙げられている。

≪「できた」と回答した主な意見≫

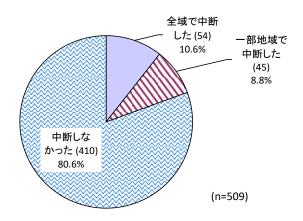
- ・仮置き場を迅速に設置できた、災害廃棄物の処理を迅速に行えた(約50件)
- ・被害が限定的だった、被害が少なかった(約30件)
- ・防災計画やマニュアルに従った、災害前から災害発生時の想定をしていた(約25件)
- ・関係機関等(民間事業者、近隣市町村、協定先自治体)との連携、住民の協力(約20件)
- ・ごみ収集に影響がなかった(約20件)
- ・状況把握、情報収集が迅速にできた(約15件)
- ・住民への周知、広報を適切に行えた(約10件)
- ・職員の招集ができた、職員が迅速に動けた(7件) 等

≪「できなかった」と回答した主な意見≫

- ・ノウハウがなかった、経験がなかった(約30件)
- ・計画やマニュアルがなかった、備えが不十分だった(約10件)
- ・被害が想定以上だった(7件)
- ・停電等、インフラ停止や道路の寸断(6件) 等

Q29. 貴自治体では、Q26. で選んだ自然災害の発生後、「生活ごみの収集」を中断した期間がありましたか。(単回答)

被災した自治体について、発災後の生活ごみ収集の中断状況をみると、「中断しなかった」が80.6%を占める。中断した自治体では、「全域で中断した」が10.6%、「一部地域で中断した」が8.8%である。



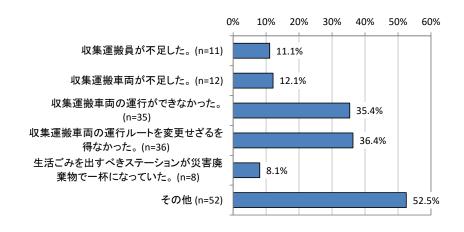
Q30. Q29. で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。「生活ごみの収集」の再開に何日を要しましたか。日数をご記入下さい。

生活ごみの収集を全域または一部地域で中断した自治体について、収集再開までの期間をみると、 平均 69.3 日、中央値は7日である。

	再開までの日数
平均	69.3
中央値	7
最大	2585
最小	1
回答件数	92

Q31. Q29. で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。「生活ごみの収集」の再開において、課題は何でしたか。(複数回答)

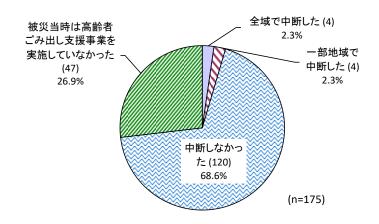
生活ごみの収集を全域または一部地域で中断した自治体について、収集再開にあたっての課題をみると、「その他」が52.5%、「収集運搬車両の運行ルートを変更せざるを得なかった」が36.4%、「収集運搬車両の運行ができなかった」が35.4%である。



「その他」の内容として、停電や断水、道路の寸断等、インフラや都市機能のまひ(約 15 件)、クリーンセンターや処理施設が稼働できなかった(13 件)、車両の燃料の確保(12 件)等が挙げられた。

Q32. 貴自治体では、Q26. で選択した自然災害の発生後、「高齢者ごみ出し支援事業」を中断した期間がありましたか。(単回答)

自然災害の被害を受けた自治体について、発災後の高齢者ごみ出し支援事業の中断状況をみると、「中断しなかった」が 68.6%と最も高く、次に「被災当時は高齢者ごみ出し支援事業を実施していなかった」が 26.9%である。中断した自治体では、「全域で中断した」「一部地域で中断した」がそれ 2.3%である。



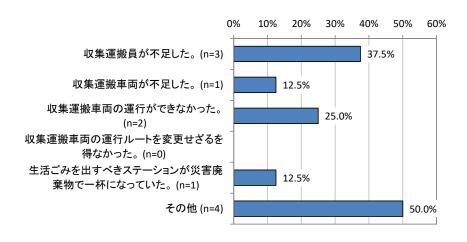
Q33. Q32. で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。高齢者ごみ出し支援事業の再開に何日を要しましたか。日数をご記入下さい。

高齢者のごみ出し支援事業を全域または一部地域で中断した自治体について、収集再開までの期間をみると、平均14.0日、中央値は10日である。

	再開までの日数
平均	14.0
中央値	10
最大	30
最小	1
回答件数	7

Q34. Q32. で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。「高齢者ごみ出し支援事業」の再開において、課題は何でしたか。(複数回答)

高齢者のごみ出し支援事業を全域または一部地域で中断した自治体について、収集再開にあたっての課題をみると、「その他」が50.0%、「収集運搬員が不足した」が37.5%、「収集運搬車両の運行ができなかった」が25.0%である。



「その他」の内容として、ごみ処理場の設備停止(1件)、断水、停電(1件)、処理場への道が土砂崩れにより寸断された(1件)等が挙げられた。

Q35. 甚大な自然災害の体験により、「高齢者のごみ出し支援事業」の再開に対して示唆されることについて、下記に具体的に記入してください。

高齢者のごみ出し支援制度利用者の安否や避難情報の把握に関する意見、収集する人員体制や車両・燃料等の確保に関する意見、インフラの回復に関する意見、収集の優先度に関する意見等が挙げられた。

≪主な意見≫

(利用者の安否や避難情報の把握に関する意見)

- ・対象者の避難所、避難先を把握する必要がある
- ・避難者の安否確認方法
- ・高齢者の安否確認と運搬経路の確認をすること
- ・利用者の状況把握、情報伝達が困難。災害前と同様の収集体制がとれるか不明。
- ・利用者の避難状況や周辺道路の復旧状況を確認するなどし、随時再開の必要性を把握する必要がある

- ・ケアマネジャー等との連携、粗大ゴミの回収
- ・収集を中断するほどの被害はなかったが、利用者の中には事前に自主避難していて、収集員の訪問時に自宅におらず、一時連絡が取れないケースがあった。大規模災害時には携帯電話等がつながらないことも予想され、利用者の避難情報について、福祉部局や避難所担当部局との情報共有が必要と考える。
- ・①安否の確認:被災したかの確認も兼ねた利用者の安否確認、住居の状況等による避難又は転居等の把握。また、登録情報(同意済)に記載された緊急連絡先や親族、自治会等への情報提供も行う。②収集・回収日の休止(延期)・変更・周知:災害の総合的な規模(利用者・運搬車両・処理施設等)にあわせて、必要であれば環境衛生に支障のない範囲内で休止(延期)や収集・回収の曜日及び回数の変更を協議決定し、その方法を利用者へ周知する。③収集・運搬方法:避難の有無等による居住場所等が変更になっている可能性もあることから、動線の見直しを行い、的確かつ効率的な収集・運搬方法を実施する。
- ・対象者が戻っているか不透明。再開の周知を即座に行うのが難しい。

(人員体制や収集車両等の確保に関する意見)

- ・東日本大震災のような大規模災害では、「高齢者のごみ出し支援」に限らず、ごみ収集車両の燃料 確保が課題となる。(東日本大震災では、津波により被災地への石油供給が滞った)
- ・人員・交通手段等の確保、リスク管理、安全の確保
- ・ごみ量の増加に伴う作業の回数増し
- ・災害時における職員の配置や安否確認などの連絡体制、収集体制など、具体的な体制を構築していないため、早急な対応が必要と思われる。
- ・大災害時では、ごみ出しボランティアを担っている住民がごみ出し以外も対応すると考えられる ため、大きな負担となる。
- ・災害廃棄物の収集運搬に車両を回したため、粗大ごみのふれあい収集(高齢者のごみ出し支援事業)を中断したが、普通ごみ・資源物の収集は継続した。がれき等の災害廃棄物の収集が落ち着いてからの対応になるため、今後検討が必要である。
- ・甚大といえる自然災害はまだ経験していないが、非常時には莫大な災害廃棄物の処理に多大な人 員と車両等が必要となるため、人員、機材の確保が困難となることが予想される。
- 人員不足
- ・中断しなければならない時の連絡体制の確立。回収ルートの確保のための情報共有体制の確立
- ・通常のごみ収集業務の一つとして訪問収集事業 (= 高齢者のごみ出し支援事業)を行っており、 長期間の中断が生じてしまう状況下では、収集人員の不足や収集ルートの変更、収集担当地区外 の収集事業者が対応することも想定されるため、追加経費などが発生する恐れがある。
- ・災害時は、ボランティアなどの協力も得られるので問題が表面化しないが、応急期が終わった後 の復興期に、ボランティアの支援が解除される時や高齢者の生活スタイルが変化した時の支援の あり方が難しいと思いました。

(インフラの回復に関する意見)

- ・道路が通行止めになることがあるため、迂回ルートを把握しておく
- ・停電になった場合、共同住宅の建物内のごみを収集する際、明かりがなく収集が困難になる場合 が考えられる。
- 道路の通行止め情報を共有する必要があると考えます。
- ・道路状況による収集の不可否
- ・道路状態の回復が不十分なため、車両での収集に危険が伴う。

(収集の優先度に関する意見)

- 事業を再開する体制が確立できるまでは、中断せざるを得ないと考える。
- ・災害分別ごみ置き場とその処理
- 可燃ごみの再開がまず優先されると思われる。
- ・生活ごみより災害廃棄物の処理を優先すべきと思っている
- ・災害廃棄物の処理に追われることになるため、再開開始までに時間がかかることが懸念される。

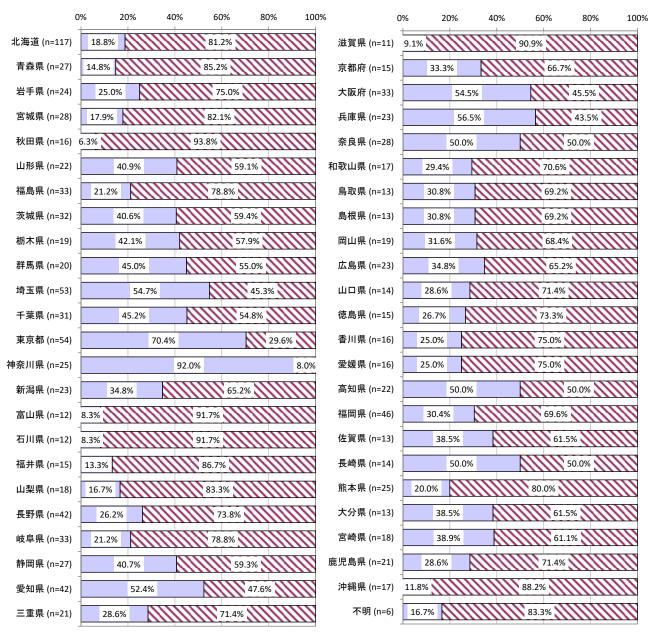
(その他)

- ・本市では、直営の職員で事業を実施していることから、業務継続計画の中でも「高齢者のごみ出し支援事業」に関しては優先的に実施することとなっている。
- ・現在、「高齢者のごみ出し支援事業」は導入していないが、通常のごみ収集業務が滞る状態となった場合、同事業の支援まで手が回るのか、懸念される
- ・通常の収集にあわせて災害ごみの対応があったので新規申し込みをしばらく中止した
- ・災害ごみの収集についての受援体制を整えておくことで、生活ごみ収集および高齢者のごみ出し 支援への影響を、最小限に抑えられると考える。 等

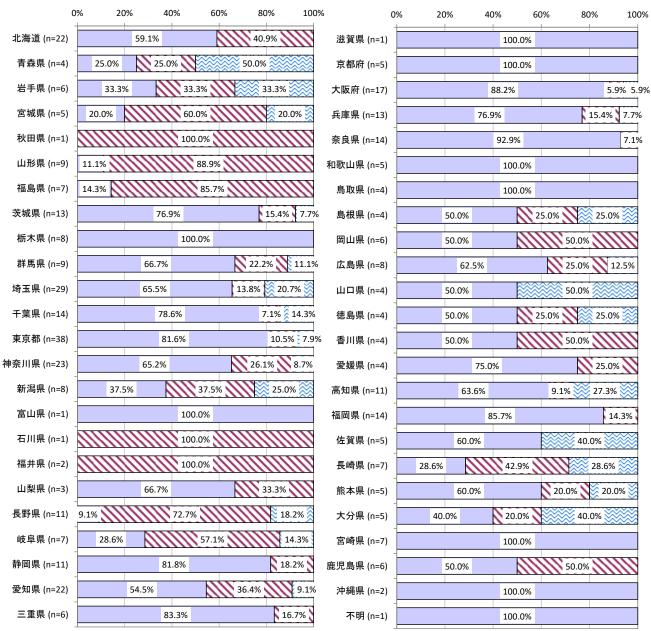
3. アンケート結果(クロス集計)

3.1 都道府県別集計

都道府県別 \times Q2. 貴自治体は、「高齢者を対象としたごみ出し支援」を行っていますか(令和3年1月現在)。(n=1,197)

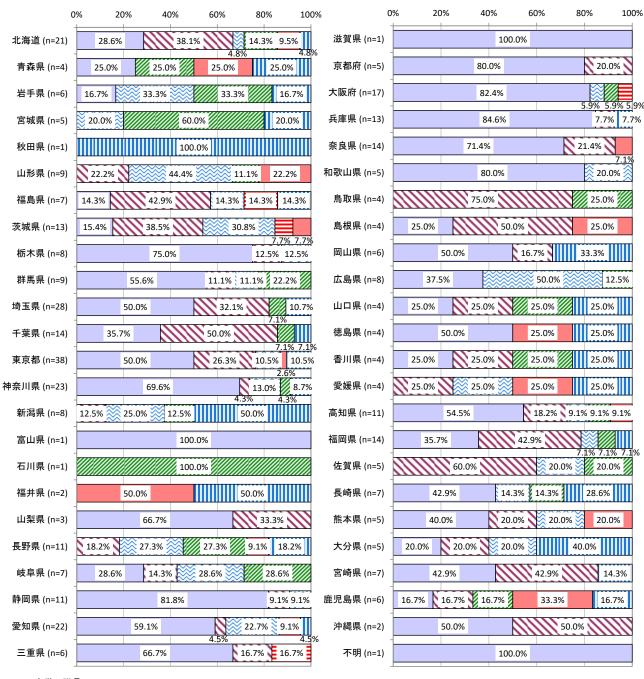


都道府県 \times Q3. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」の主な担当部署は、どちらですか。(n=416)



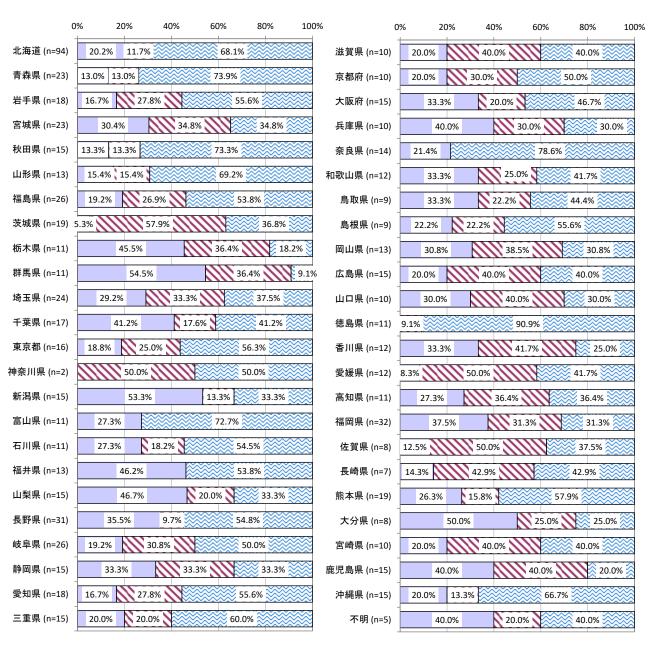
□廃棄物部局 □福祉部局 □その他

都道府県 \times Q4. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」はどなたが行いますか。(n=414)



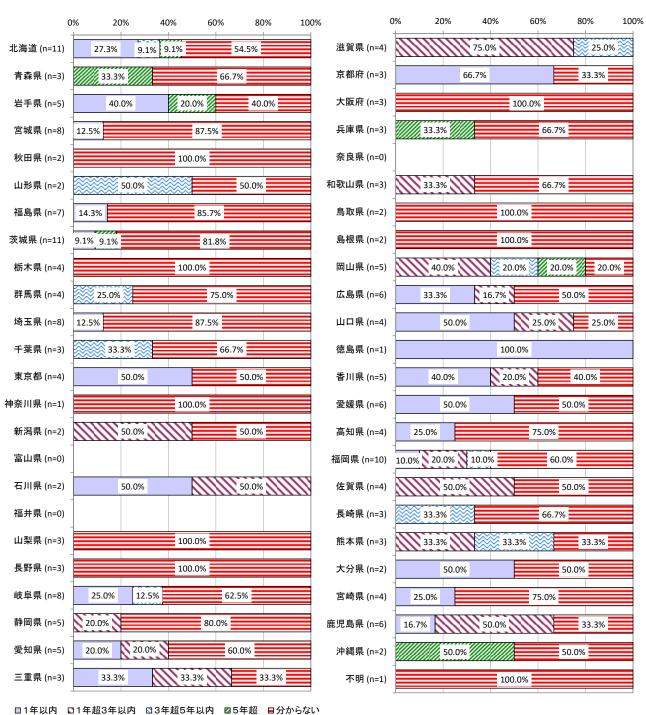
- □直営の職員
- ■委託または許可業者
- □安託または計り来有
 □シルバー人材センター
- 図自治会やNPO等の地域団体が定める地域ボランティアなどの協力員
- ■NPO団体等
- ■ヘルパー
- ■その他

都道府県 \times Q5. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っていない」と回答された方にお聞きします。高齢者を対象としたごみ出し支援制度の導入を検討したことはありますか。(n=774)

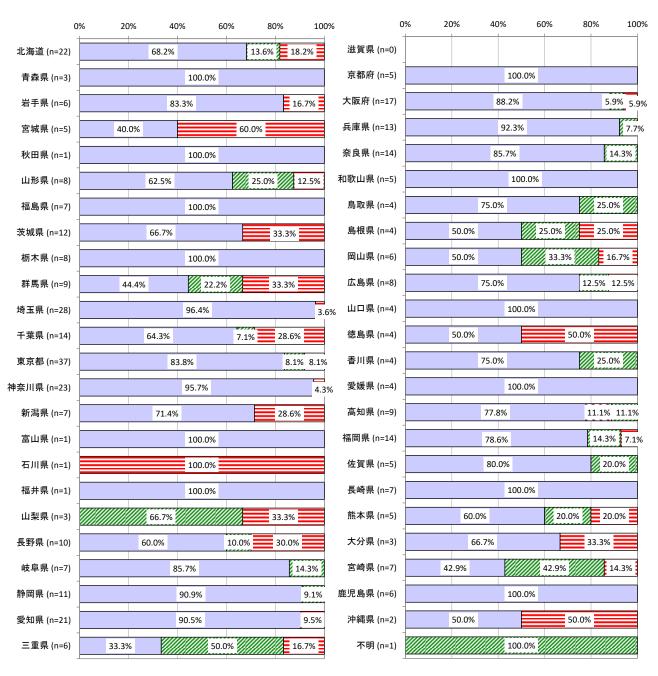


□検討したが、導入する予定はない。 □検討して、将来的には導入する。 □検討していない

都道府県 \times Q6. Q5. で、「検討して、将来的には導入する。」と回答された方にお聞きします。 具体的な導入時期は何時頃でしょうか。 (n=190)



都道府県 × Q9.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「利用申請」について、申請者本人が「利用申請」できない場合の、代理申請(代理人による申請代行)についてお尋ねします。 (n=402)



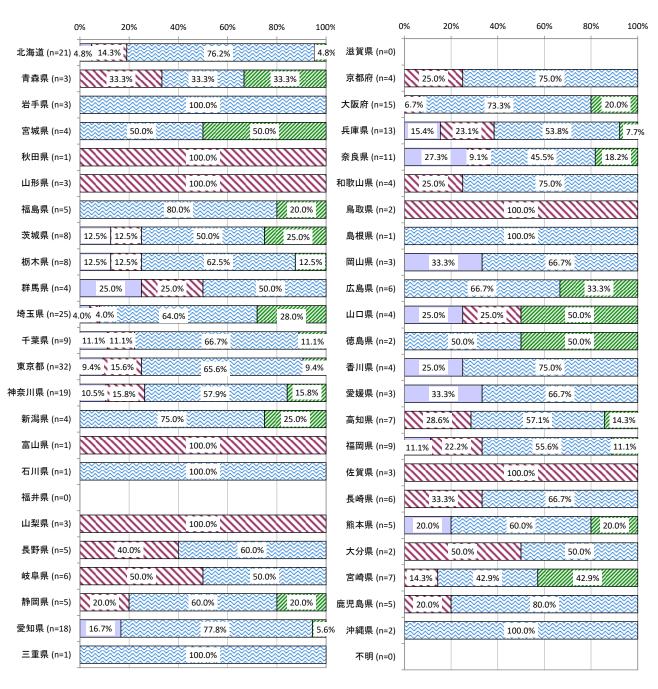
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけている。
- ■新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけている。
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけていない
- ☑新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけていない。
- ■その他

都道府県 \times Q10. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「申請者の面談」について、「訪問面談」の方法についてお尋ねします。(n=401)



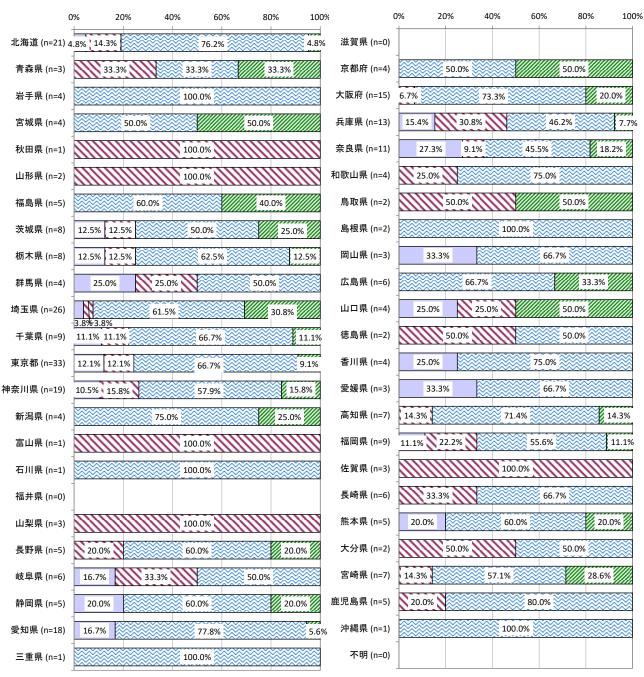
- □新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたし、新型コロナウイルス禍以後も 訪問面談している。
- ■新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしている。
- □新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたが、新型コロナウイルス禍以後は 訪問面談をしていない。
- 図新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談しない。
- ■その他

都道府県 \times Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=307)



□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □玄関の中に入り、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

都道府県 \times Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=309)



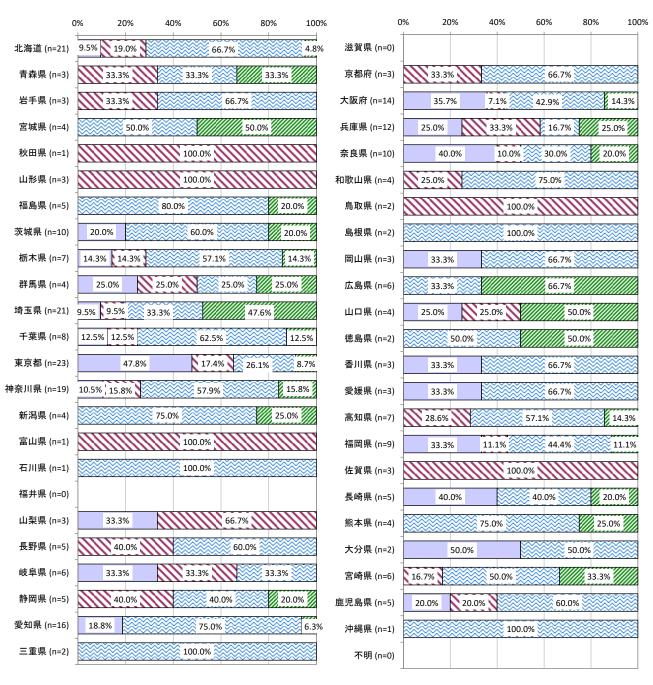
□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。

図その他

[■]玄関の中に入り、申請者と面談を行う。

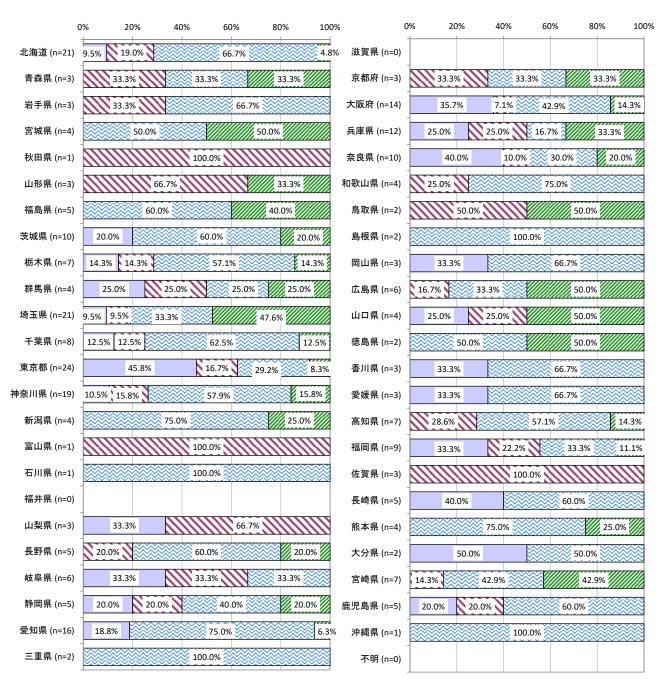
[□]家に上がって、申請者と面談を行う。

都道府県 \times Q13. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=285)



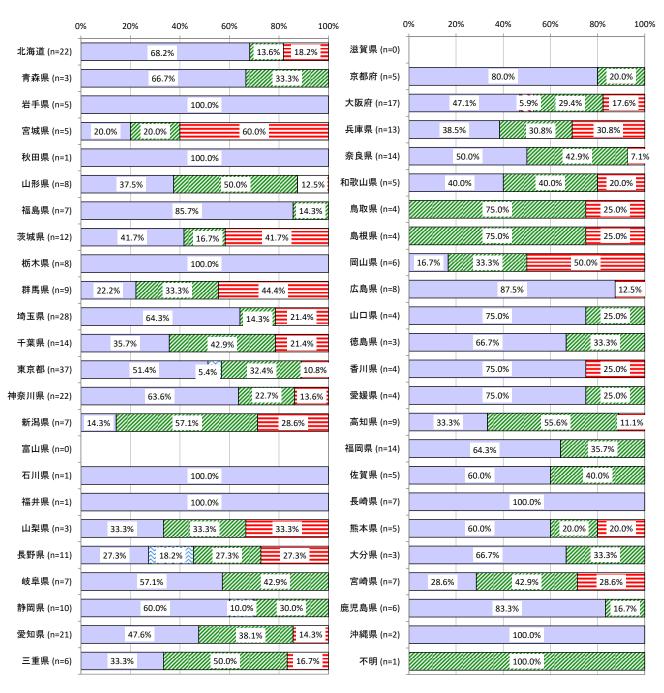
□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □玄関の中に入り、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

都道府県 \times Q14. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=287)



□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □玄関の中に入り、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

都道府県 \times Q18. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。(n=398)



[□]新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も 「声かけ」をしている。

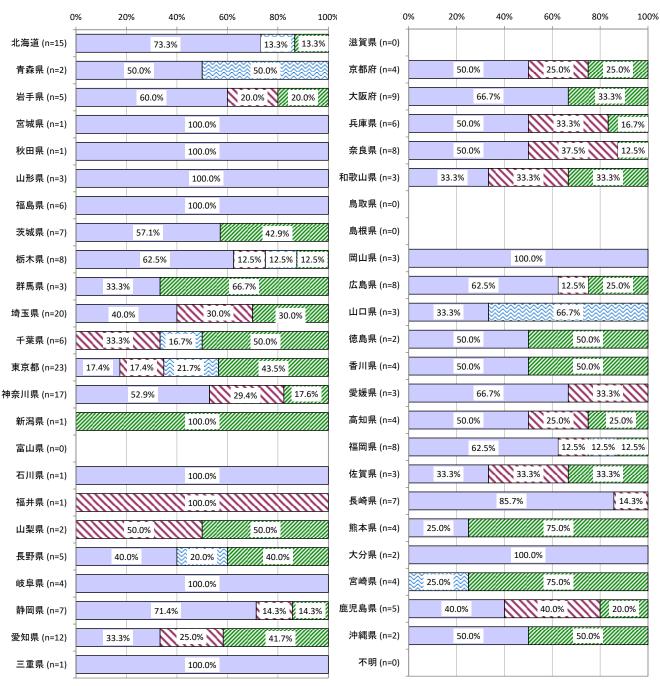
■その他

[□]新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしている。

[□]新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしていない。

図新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。

都道府県 \times Q19. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 (n=243)



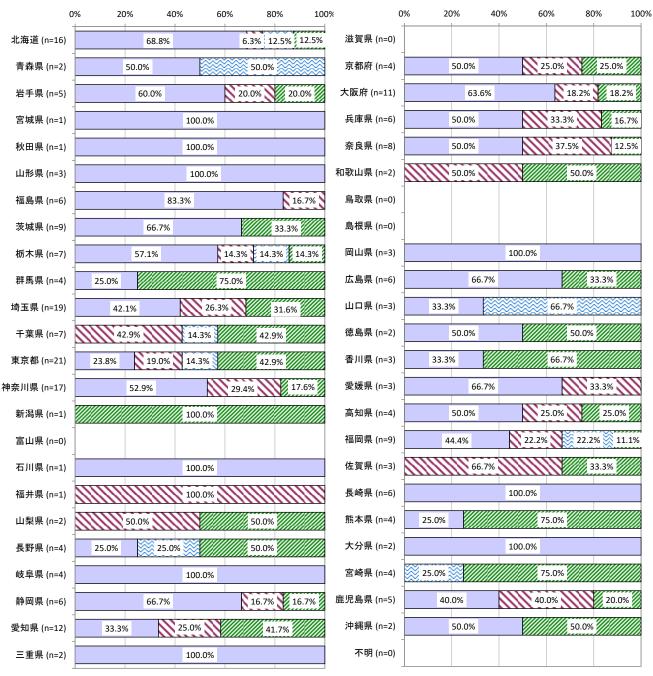
□毎回、声かけを行っていた。

口ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っていた。

☑数回ごみが出ていない場合に、声かけを行っていた。

図その他

都道府県 \times Q20. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 $\binom{n=241}{n}$



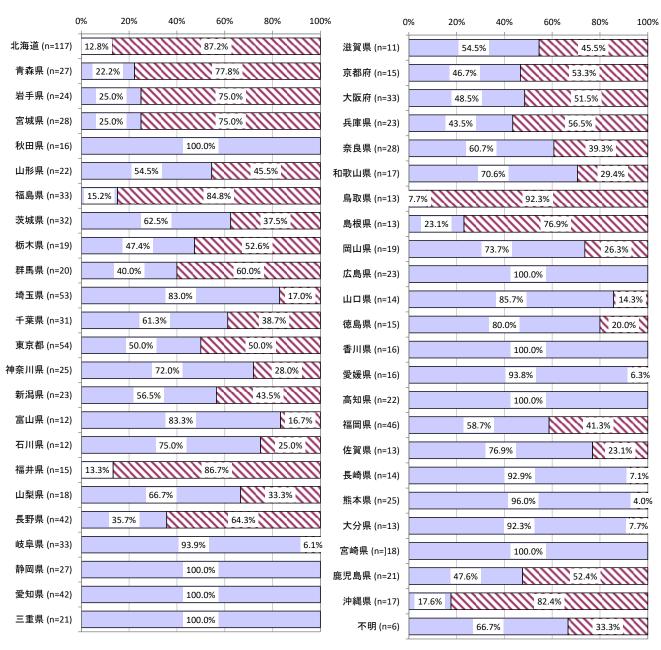
□毎回、声かけを行っている。

□ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っている。

☑数回ごみが出ていない場合に、声かけを行っている。

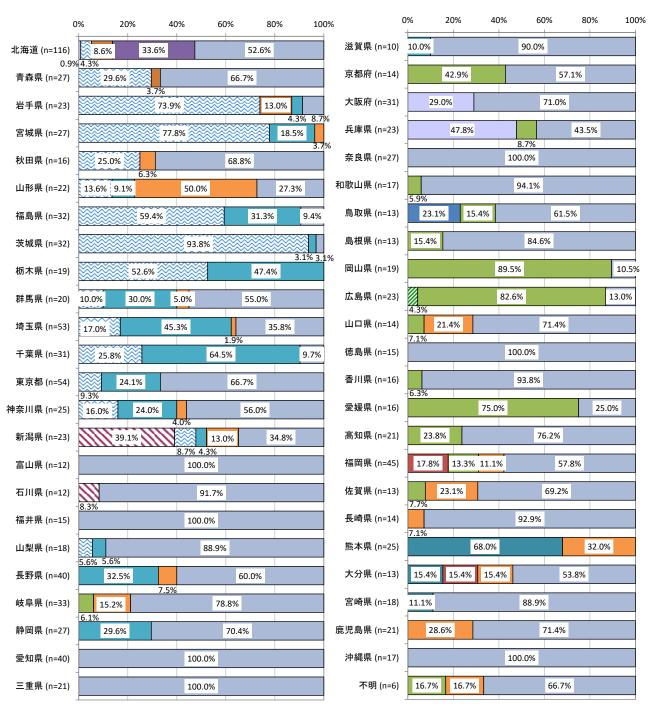
図その他

都道府県 × Q24. 貴自治体では、災害廃棄物処理計画を策定していますか。(n=1,197)



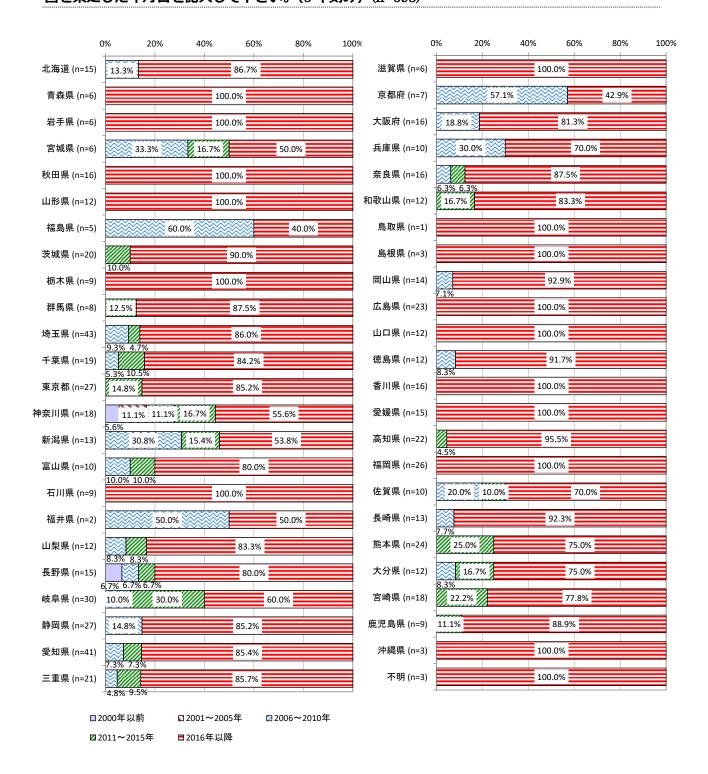
□策定している □策定していない

都道府県 × Q26. 貴自治体は、下記に示す大災害に被災しましたか。平成7年以降に発生した「阪神・淡路大震災」以降の自然災害の内、最も甚大な被害を受けた自然災害をお尋ねします。 (n=1,182)

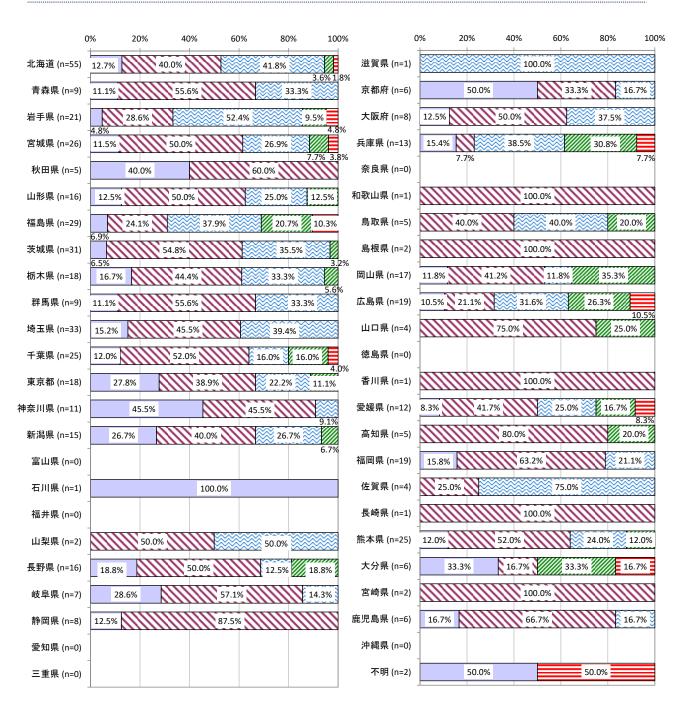


- □阪神・淡路大震災(平成7年1月)
- □新潟県中越地震(平成16年10月)
- □東日本大震災(平成23年3月)
- ☑広島県土砂災害(平成26年8月)
- ■熊本地震(平成28年4月)
- ■平成28年台風第10号(北海道、岩手県)(平成28年8月)
- ■平成28年鳥取県中部地震(平成28年10月)
- ■平成29年7月九州北部豪雨(平成29年7月)
- ■平成30年7月豪雨(岡山県、広島県、愛媛県)(平成30年7月)
- ■北海道胆振東部地震(平成30年9月)
- ■令和元年房総半島台風·東日本台風(令和元年9月·10月)
- ■令和2年7月豪雨(令和2年7月)
- □被災はしていない

都道府県 \times Q25. Q24. で「策定している」と回答された方にお聞きします。災害廃棄物処理計画を策定した年月日を記入して下さい。(5 年刻み)(n=693)

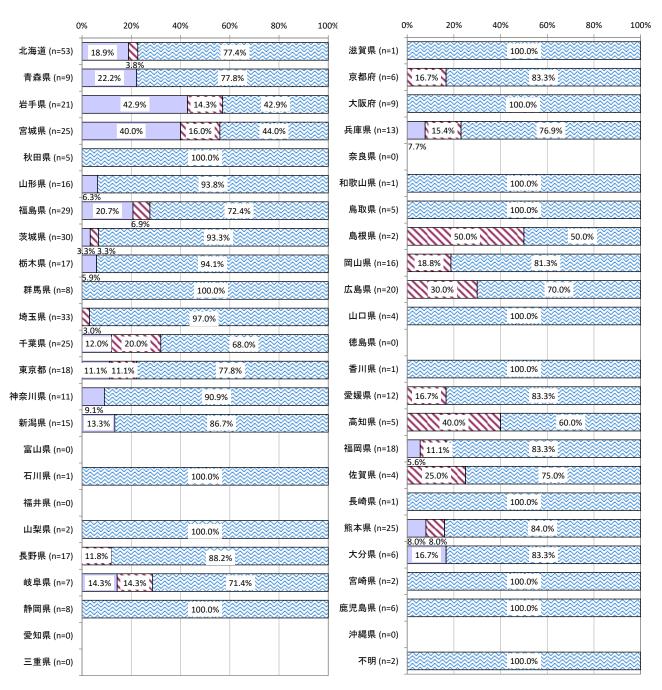


都道府県 \times Q27. 貴自治体では、Q26. で選んだ自然災害の発生後、初動対応ができましたか。 (n=514)



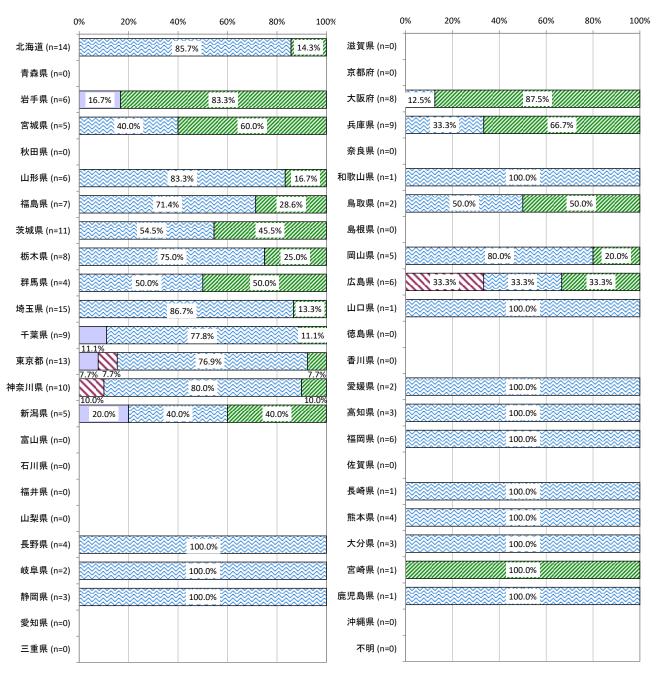
□ よくできた □ まあまあできた □ どちらともいえない □ あまりできなかった □ できなかった

都道府県 \times Q29. 貴自治体では、Q26. で選んだ自然災害の発生後、「生活ごみの収集」を中断した期間がありましたか。(n=509)



□全域で中断した □一部地域で中断した □中断しなかった

都道府県 \times Q32. 貴自治体では、Q26. で選択した自然災害の発生後、「高齢者ごみ出し支援事業」を中断した期間がありましたか。(n=175)



[□]全域で中断した

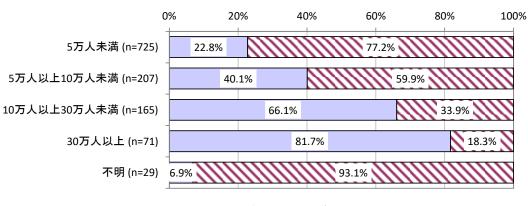
[□]一部地域で中断した

[□]中断しなかった

[☑]被災当時は高齢者ごみ出し支援事業を実施していなかった

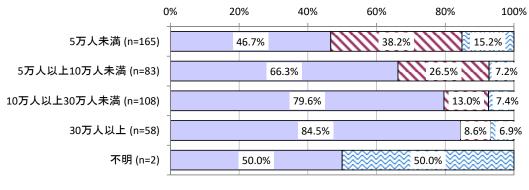
3.2 人口規模別集計1

人口規模 \times Q2. 貴自治体は、「高齢者を対象としたごみ出し支援」を行っていますか(令和3年 1月現在)。(n=1,197)



□行っている □行っていない

人口規模 \times Q3. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」の主な担当部署は、どちらですか。(n=416)



[□]廃棄物部局 □福祉部局 □その他

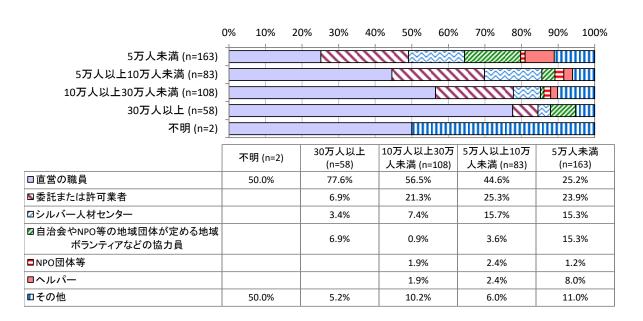
_

¹ 市区町村別人口は、政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載の「平成27年人口動態(市区町村別)(総計)」を使用した。なお、一部事務組合からの回答は人口「不明」として処理している。

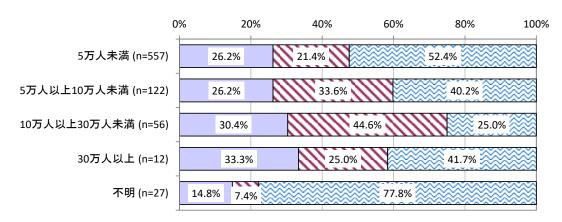
https://www.e-stat.go.jp/stat-

search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200241&tstat=000001039591&cycle=7&year=20160&month=0&tclass1=000001039601

人口規模 \times Q4. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」はどなたが行いますか。(n=414)

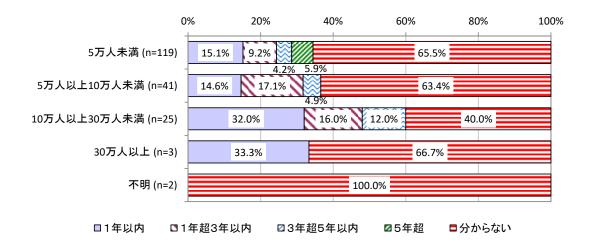


人口規模 \times Q5. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っていない」と回答された方にお聞きします。高齢者を対象としたごみ出し支援制度の導入を検討したことはありますか。(n=774)



□検討したが、導入する予定はない。 □検討して、将来的には導入する。 □検討していない

人口規模 \times Q6. Q5. で、「検討して、将来的には導入する。」と回答された方にお聞きします。 具体的な導入時期は何時頃でしょうか。 (n=190)

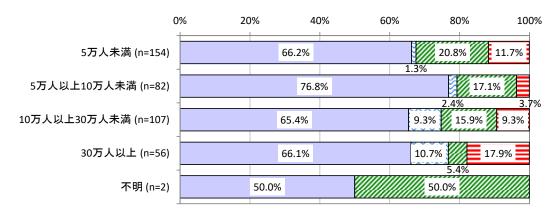


人口規模 \times Q9. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「利用申請」について、申請者本人が「利用申請」できない場合の、代理申請(代理人による申請代行)についてお尋ねします。 (n=402)



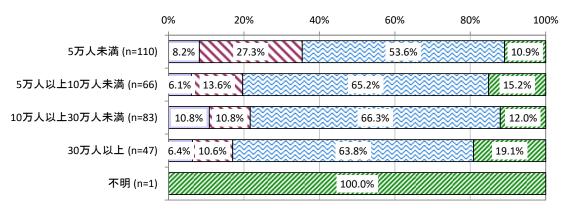
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけている。
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったが、新型コロナウイルス禍以後は代 理申請を受けつけている。
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけていない
- 図新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけていない。
- ■その他

人口規模 \times Q10. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「申請者の面談」について、「訪問面談」の方法についてお尋ねします。(n=401)



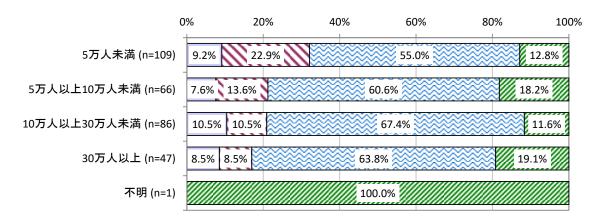
- 口新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談している。
- □新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしている。
- □新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしていない。
- 図新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談しない。
- ■その他

人口規模 \times Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=307)



- □玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。
- ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。
- ☑その他

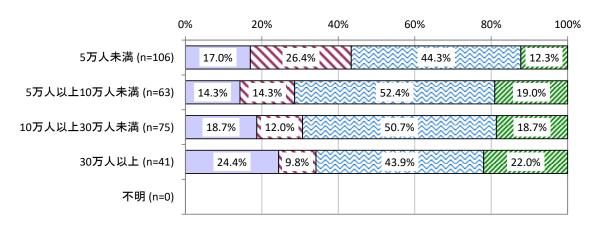
人口規模 \times Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=309)



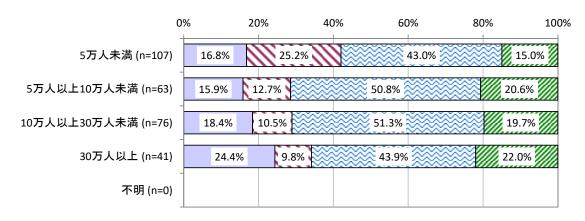
□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。 ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。

☑その他

人口規模 \times Q13. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=285)

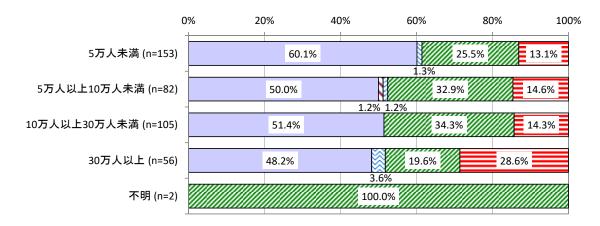


□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。 ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。 ☑その他 人口規模 \times Q14. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=287)



- □玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。
- ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。
- ☑家に上がって、申請者と面談を行う。
- ☑その他

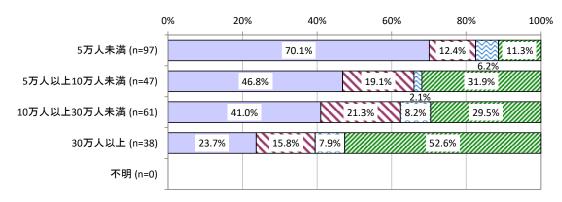
人口規模 × Q18.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。(n=398)



□新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしている。 ■新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしている。 □新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしていない。

■ 新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。■ その他

人口規模 \times Q19. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 (n=243)



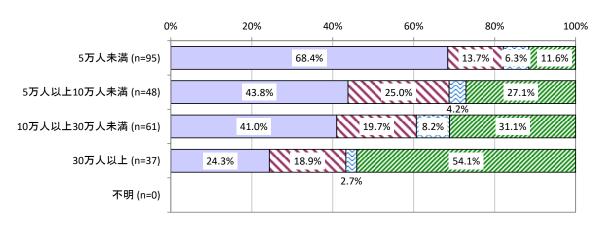
□毎回、声かけを行っていた。

□ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っていた。

□数回ごみが出ていない場合に、声かけを行っていた。

☑その他

人口規模 \times Q20. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 (n=241)



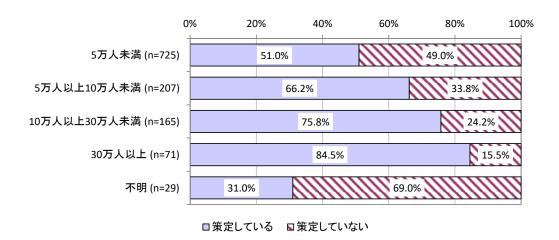
□毎回、声かけを行っている。

□ごみが出ていない時は、毎回声かけを行っている。

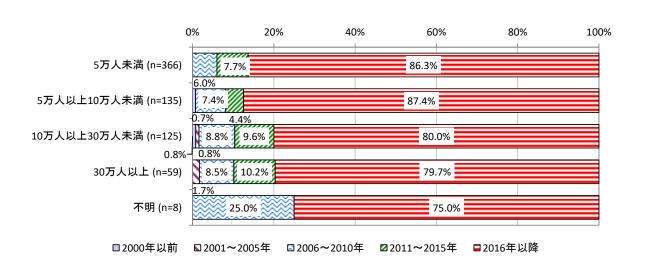
□数回ごみが出ていない場合に、声かけを行っている。

図その他

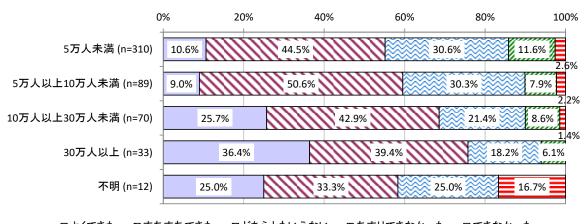
人口規模 × Q24. 貴自治体では、災害廃棄物処理計画を策定していますか。(n=1,197)



人口規模 \times Q25. Q24. で「策定している」と回答された方にお聞きします。災害廃棄物処理計画を策定した年月日を記入して下さい。(5年刻み) (n=693)

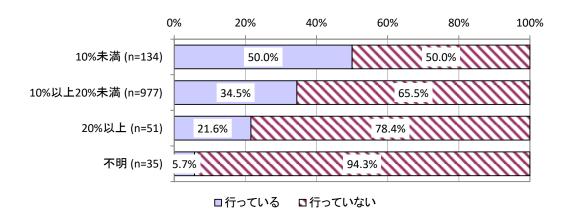


人口規模 \times Q27. 貴自治体では、Q26. で選んだ自然災害の発生後、初動対応ができましたか。 (n=514)

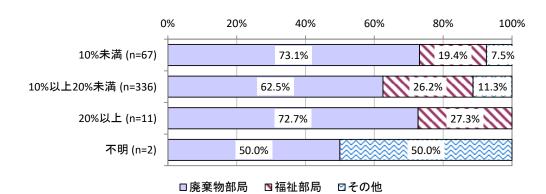


3.3 高齢夫婦世帯割合別集計2

高齢夫婦世帯割合 × Q2. 貴自治体は、「高齢者を対象としたごみ出し支援」を行っていますか (令和3年1月現在)。(n=1197)



高齢夫婦世帯割合 \times Q3. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」の主な担当部署は、どちらですか。(n=416)

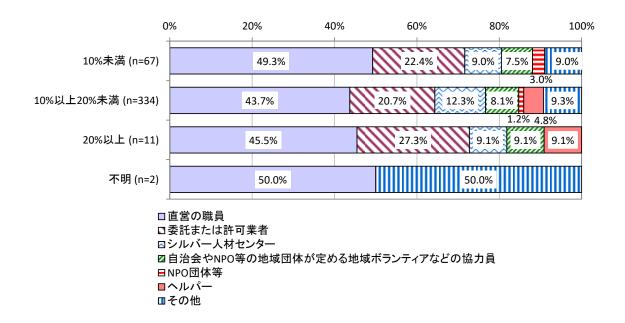


search/files?page=1&layout=datalist&toukei=00200521&tstat=000001049104&cycle=0&tclass1=000001049105&tclass2val=0

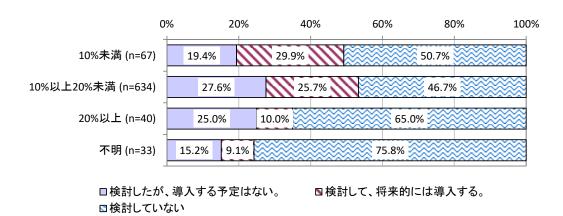
² 高齢夫婦世帯割合は、政府統計の総合窓口 (e-Stat) に掲載の「平成 27 国勢調査 都道府県・市区町村 別主要統計表 (平成 27 年)」より高齢夫婦世帯 (夫 65 歳以上妻 60 歳以上の夫婦 1 組のみの一般世帯) 数を使用し、一般世帯に占める割合を算出した。なお、一部事務組合からの回答は人口「不明」として処理している。

https://www.e-stat.go.jp/stat-

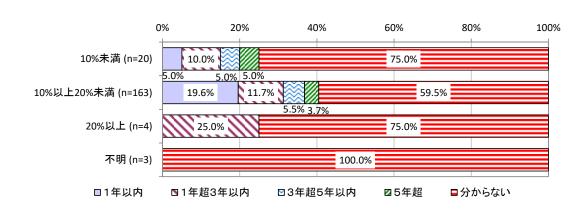
高齢夫婦世帯割合 \times Q4. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っている」と回答された方にお聞きします。「高齢者のごみ出し支援」はどなたが行いますか。(n=414)



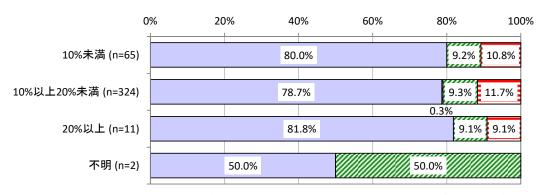
高齢夫婦世帯割合 \times Q5. Q2. で「高齢者のごみ出し支援を行っていない」と回答された方にお聞きします。高齢者を対象としたごみ出し支援制度の導入を検討したことはありますか。(n=774)



高齢夫婦世帯の割合 × Q6. Q5. で、「検討して、将来的には導入する。」と回答された方にお聞きします。具体的な導入時期は何時頃でしょうか。(n=190)

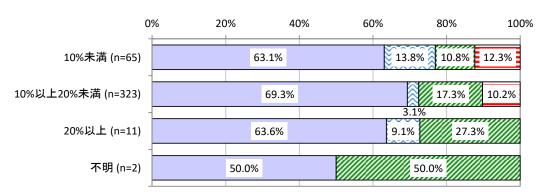


高齢夫婦世帯割合 \times Q9. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「利用申請」について、申請者本人が「利用申請」できない場合の、代理申請(代理人による申請代行)についてお尋ねします。(n=402)



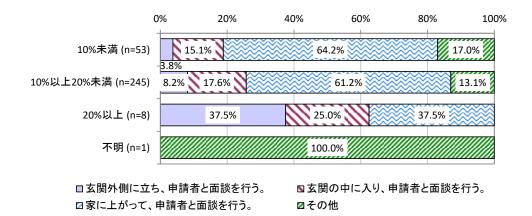
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を 受けつけている。
- □新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけている。
- 回新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を 受けつけていない
- 図新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけていない。
- ■その他

高齢夫婦世帯割合 \times Q10. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「申請者の面談」について、「訪問面談」の方法についてお尋ねします。(n=401)

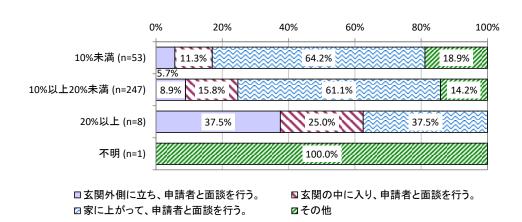


- 口新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談している。
- ■新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしている。
- ☑新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していたが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしていたい。
- 図新型コロナウイルス禍以前は訪問面談していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談しない。
- ■その他

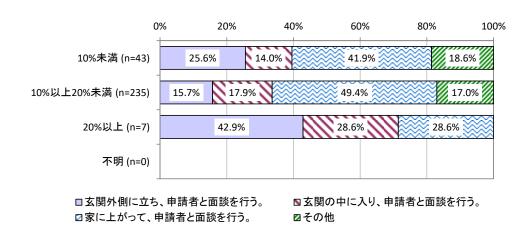
高齢夫婦世帯割合 \times Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=307)



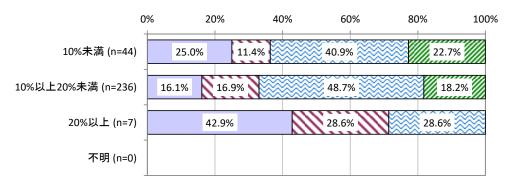
高齢夫婦世帯割合 \times Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=309)



高齢夫婦世帯割合 \times Q13. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=285)

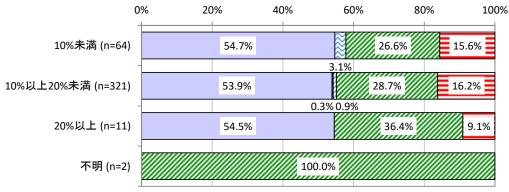


高齢夫婦世帯割合 \times Q14. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=287)



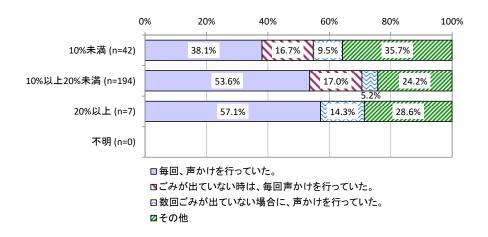
- □玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 □家に上がって、申請者と面談を行う。
- ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。 ②その他

高齢夫婦世帯割合 × Q18.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。(n=398)

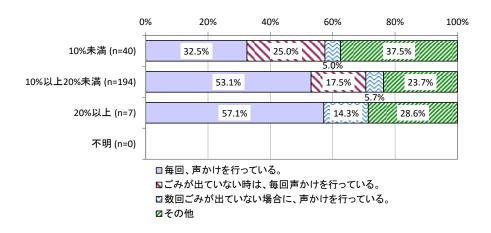


- □新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしている。
- ■新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしている。
- ロ新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をして いない
- 図新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。
- ■その他

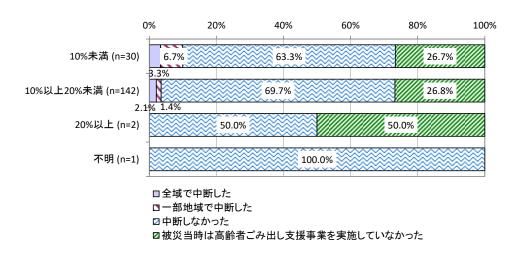
高齢夫婦世帯割合 \times Q19. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。(n=243)



高齢夫婦世帯割合 \times Q20. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。(n=241)

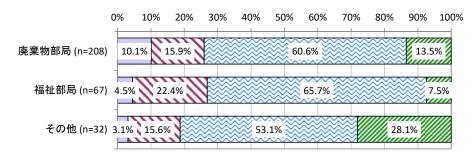


高齢夫婦世帯割合 × Q32. 貴自治体では、Q26. で選択したの自然災害の発生後、「高齢者ごみ出し支援事業」を中断した期間がありましたか。(n=175)



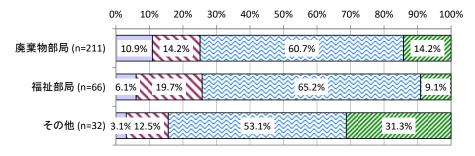
3. 4 高齢者のごみ出し支援担当部署別 新型コロナへの対応

担当部署 \times Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=307)



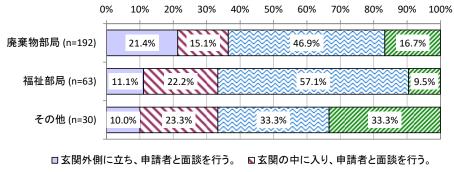
- □玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。 ■玄関の中に入り、申請者と面談を行う。
- □家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

担当部署 \times Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=309)



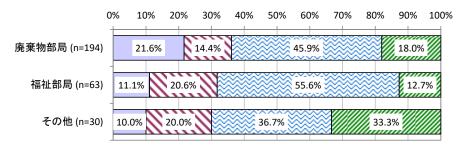
- □玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。□玄関の中に入り、申請者と面談を行う。
- □家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

担当部署 \times Q13. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=285)



□家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

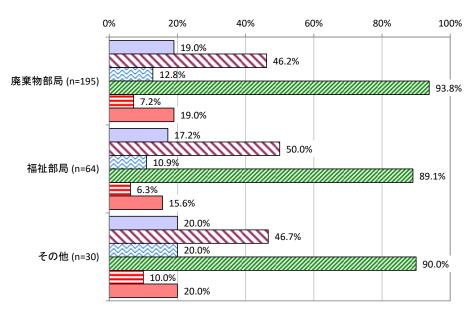
担当部署 \times Q14. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。(n=287)



□玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。□玄関の中に入り、申請者と面談を行う。

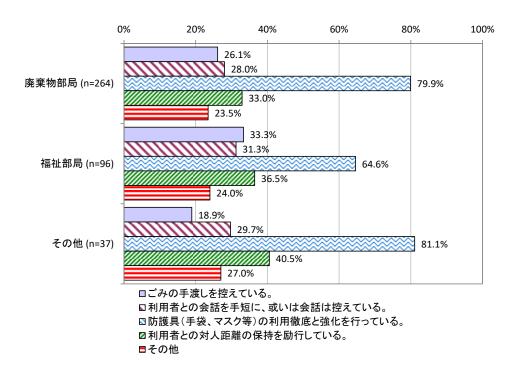
□家に上がって、申請者と面談を行う。 □その他

担当部署 \times Q15. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。「訪問面談」について、新型コロナウイルス禍で工夫している取組について、該当する選択肢全てにチェックをして下さい。(n=289)

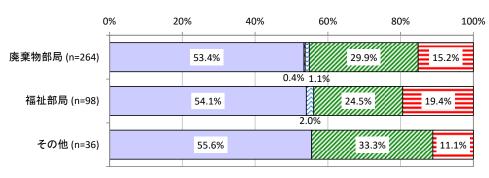


- □面談内容を簡素化している。
- ■面談時間を短縮している。
- ■面談人数を少なくしている。
- 図申請者、面談者がマスク等を装着している。
- ■申請者本人ではなく、代理人(ケアマネジャー、親族等)との面談に切り替えている。
- ■その他

担当部署 \times Q16. 「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「収集・運搬」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「収集・運搬」を行う上での留意点をお尋ねします。(n=397)

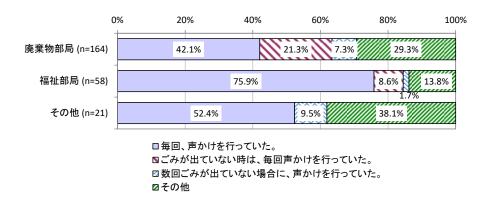


担当部署 × Q18.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウイルス禍下での「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。(n=398)

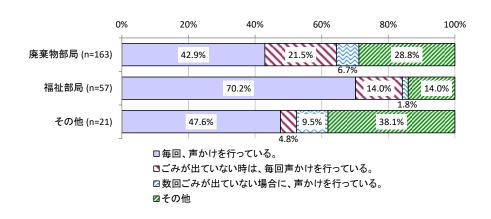


- ロ新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」 をしている。
- □新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしている。
- □新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していたが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」 をしていない。
- ②新型コロナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。
- ■その他

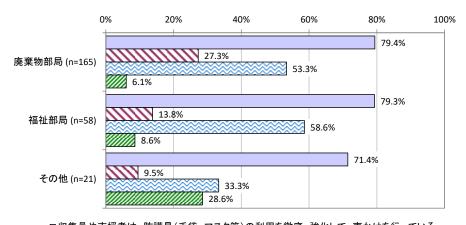
担当部署 \times Q19. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 (n=243)



担当部署 \times Q20. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。 (n=241)

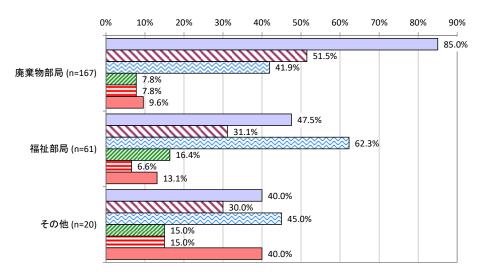


担当部署 \times Q21. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。「声かけ」行う際の新型コロナウイルス禍対策についてお尋ねします。 $\binom{n=244}{}$



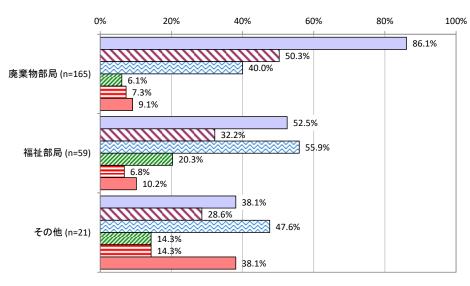
- □収集員や支援者は、防護具(手袋、マスク等)の利用を徹底、強化して、声かけを行っている。
- □収集員や支援者は、利用者と顔を合わせず、声での応答の確認のみを行っている。
- □利用者と顔を合わせる場合は、対人距離の保持を徹底した上で、声かけを行っている。 □その他

担当部署 \times Q22. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「声かけ」行う場所についてお尋ねします。 (n=248)



- ロインターホン等を押したり、玄関外から声かけをして、中にいる様子を確認した。
- ■玄関を開けて声かけをし、返答があればその場を去った(顔を合わせない)。
- □玄関で利用者と顔を合わせて声かけを行った(顔を合わせる)。
- ☑利用者の身体状況によっては、玄関から家の中に入り異常がないかを確認した。
- 目利用者が共同住宅に居住している場合には、階段・廊下などでは声が響くため、玄関内で声かけをした。
- ■その他

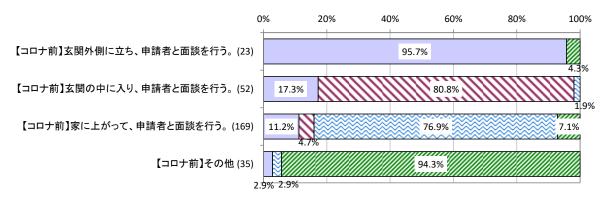
担当部署 \times Q23. Q18. で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「声かけ」行う場所についてお尋ねします。 (n=245)



- ロインターホン等を押したり、玄関外から声かけをして、中にいる様子を確認している。
- ■玄関を開けて声かけをし、返答があればその場を去っている(顔を合わせない)。
- ☑玄関で利用者と顔を合わせて声かけを行っている(顔を合わせる)。
- ☑利用者の身体状況によっては、玄関から家の中に入り異常がないかを確認している。
- ■利用者が共同住宅に居住している場合には、階段・廊下などでは声が響くため、玄関内で声かけをしている。
- ■その他

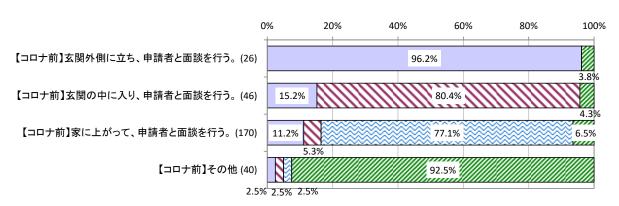
3.5 新型コロナ前後での変化

Q11. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。 \times Q13. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。



□【コロナ後】玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。□【コロナ後】玄関の中に入り、申請者と面談を行う。□【コロナ後】家に上がって、申請者と面談を行う。 □【コロナ後】その他

Q12. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。 \times Q14. Q10. で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。新型コロナウイルス禍以後の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。



□【コロナ後】玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。□【コロナ後】玄関の中に入り、申請者と面談を行う。□【コロナ後】玄関の中に入り、申請者と面談を行う。□【コロナ後】その他

4. 参考(アンケート調査画面)

以下に、調査画面を掲載する。

1. 新型コロナウイルス等の感染症による「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」への影響について

下記をお読みになり、アンケートにお答えください。

本調査で扱う「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」とは、自治体がごみ出し困難な高齢者世帯から 戸別にごみの回収を行ったり、あるいはごみ出しが困難な高齢者に代わってごみ出し支援を行う自治会・ NPO等の支援団体に対して自治体が補助金等を支給し、活動を支援する制度など、高齢者のごみ出し支援に特化した制度を指します。

さらに、自治体による高齢者の見守り支援ネットワークや、高齢者世帯を対象とした生活支援事業の一環としてごみ出し支援を行っている場合など、自治体が運営・関与する高齢者世帯を対象とした在宅生活支援の仕組みのなかで行われているごみ出し支援も対象としています。

【注意】質問番号の前に"*"が付いている質問は回答必須項目です。

*Q1. 貴自治体の「全国地方公共団体コード (半角6桁)」をご記入ください。

- * Q 2 . 貴自治体は、「高齢者を対象としたごみ出し支援」を行っていますか(令和 3 年1月現在)。該当する選択肢 1 つにチェックをしてください。

 - 行っていない ⇒ Q5.へお進みください。

廃棄物部局	
福祉部局	
その他 (下記に具体的に記入してくた	ごさい)
	を行っている」と回答された方にお聞きします。 こが行いますか。該当する選択肢1つにチェックをしてください。ご [
	こが打いますが。政当する展別はエフにアエックをしてくたさい。こ る「次へ」ボタンを押して、Q7.にお進みください。
直営の職員	
委託または許可業者	
シルバー人材センター	
自治会やNPO等の地域団体が定める	地域ボランティアなどの協力員
NPO団体等	
その他 (下記に具体的に記入してくた)	ごさい)
)5 00 で「京勘老の ジカ山」 古塚	を行っていない」と回答された方にお聞きします。
	:を打っていない」と回答された力にお聞きします。 別度の導入を検討したことはありますか。該当する選択肢1つにチェ _ン
でして下さい。	
検討したが、導入する予定はない。	
検討して、将来的には導入する。	
検討していない (その理由を下記に	具体的に記入してください)
)6 05 で 「絵計」で 牧来的に	+道)オス ・ レ回炊された
	は導入する。」と回答された方にお聞きします。 うか。該当する選択肢1つにチェックをして下さい。
	は導入する。」と回答された方にお聞きします。 うか。該当する選択肢1つにチェックをして下さい。 ○ 5年超
体的な導入時期は何時頃でしょう	うか。該当する選択肢1つにチェックをして下さい。

2. 新型コロナウイルスに対する感染防止策について

「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」を導入している自治体に新型コロナウイルスに対する感染防止 策をお尋ねします。

「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の運用を、制度設計上の「利用申請から面談まで」、「収集・運搬」、「声かけ」等の各工程に準じてお聞きします。

] 4707F	1上年に十つてのからしょう。
合、新	申請者本人(ごみ出し困難な高齢者)が、「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の申請を行う場所型コロナウイルス禍以前では、どのような「利用申請の方法」でしたか。該当する選択肢全てに アクをして下さい。
:	行政の担当者が申請者の自宅を訪問して申請書を回収
	申請者が行政の窓口に持参
	申請者が郵便等で行政に送付
	申請者がネットで行政に申請
	その他 (下記に具体的に記入してください)
合、新	申請者本人 (ごみ出し困難な高齢者) が、「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の申請を行う均 所型コロナウイルス禍以後では、どのような「利用申請の方法」に変えましたか。該当する選択肢全 チェックをして下さい。
:	行政の担当者が申請者の自宅を訪問して申請書を回収
	申請者が行政の窓口に持参
	申請者が郵便等で行政に送付
	申請者がネットで行政に申請
	その他 (下記に具体的に記入してください)
きなし	「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「利用申請」について、申請者本人が「利用申請」で い場合の、代理申請(代理人による申請代行)についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッ してください。
	新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけている。
	新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけてい る。
	新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていたが、新型コロナウイルス禍以後は代理申請を受けつけていない
	新型コロナウイルス禍以前は代理申請を受けつけていなかったし、新型コロナウイルス禍以後も代理申請を受けつけてい ない。
	その他 (下記に具体的に記入してください)

Q10 . 「高齢者な いてお尋わしま	す。該当する選択肢1つにチェックをしてください。
_	イルス禍以前は訪問面談していたし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談している。
	イルス禍以前は訪問面談していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしている。
	イルス禍以前は訪問面談していたが、新型コロナウイルス禍以後は訪問面談をしていない。
	イルス禍以前は訪問面談していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も訪問面談しない。
ての他 (Face	こ具体的に記入してください)
新型コロナウ	「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 イルス禍以前の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてま 該当する選択肢1つにチェックをしてください。
玄関外側に立	ち、申請者と面談を行う。
玄関の中に入	り、申請者と面談を行う。
○ 家に上がって	、申請者と面談を行う。
	こ具体的に記入してください)
その他 (下記)	
その他 (下記に Q12 . Q10 . で、 新型コロナウイ。 する選択肢1つ(玄関外側に立 玄関の中に入 家に上がって	こ具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該認にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。 い、申請者と面談を行う。
その他 (下記に Q12 . Q10 . で、 新型コロナウイ。 する選択肢1つ(玄関外側に立 玄関の中に入 家に上がって	こ具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該会にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。
その他 (下記に Q12 . Q10 . で、 新型コロナウイ。 する選択肢1つ(玄関外側に立 玄関の中に入 家に上がって	こ具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。 い、申請者と面談を行う。 、申請者と面談を行う。
マの他 (下記に) Q12 · Q10 · で、 オる選択肢1つ() 玄関外側に立 玄関の中に入 家に上がって その他 (下記に) Q13 · Q10 · で、イカする選択肢1つ() な関型選択肢1つ() な関外側に立 玄関の中に入	□具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。 り、申請者と面談を行う。 □具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。
Q12 · Q10 · で、イ・する選択外側に立 玄関の中に入 家に上がって で、イ・ウロ(下記) Q13 · Q10 · で、イ・ウロ(文 文 関 の中に入 文 の他 (下記) な 対 の中に入 する 玄 関 の中に入 家に上がって な え 家に上がって	□ 「新型コロナウイルス禍以前に訪問面談を行っていた」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以前の「集合住宅」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。 り、申請者と面談を行う。 こ具体的に記入してください) 「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。 ルス禍以後の「一戸建て」における「申請者との面談場所」についてお尋ねします。該にチェックをしてください。 ち、申請者と面談を行う。

	選択肢1つにチェックをしてください。
	玄関外側に立ち、申請者と面談を行う。
	玄関の中に入り、申請者と面談を行う。
	家に上がって、申請者と面談を行う。
	その他 (下記に具体的に記入してください)
訪問	・Q10.で、「新型コロナウイルス禍以後に訪問面談を行っている」と回答された方にお聞きします。 別面談」について、新型コロナウイルス禍で工夫している取組について、該当する選択肢全てに ソクをして下さい。
	面談内容を簡素化している。
	面談時間を短縮している。
	面談人数を少なくしている。
	申請者、面談者がマスク等を装着している。
	申請者本人ではなく、代理人 (ケアマネジャー、親族等) との面談に切り替えている。
\neg	その他 (下記に具体的に記入してください)
ル	.「高齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「収集・運搬」についてお尋ねします。新型コロス禍下での「収集・運搬」を行う上での留意点をお尋ねします。該当する選択肢全てにチェック さい。
	ごみの手渡しを控えている。
	利用者との会話を手短に、或いは会話は控えている。
	利用者との会話を手短に、或いは会話は控えている。 防護具 (手袋、マスク等) の利用徹底と強化を行っている。
	防護具 (手袋、マスク等) の利用徹底と強化を行っている。
	防護具 (手袋、マスク等) の利用徹底と強化を行っている。 利用者との対人距離の保持を励行している。

	して頂いている場合、新型コロナウイルス禍下で、支援者による支援体制を変えています
	る選択肢全てにチェックをして下さい。
	のごみ出しを支援する支援者の対象者から、"高齢者の活用"を外した。
	つごみ出しを支援する支援者の対象者から、"学生ボランティアの活用"を外した。
	つごみ出しを支援する支援者の対象者の変更はない。
	ごとに対応できる支援者の人数を増やした。
	つ総人数を増員した。
	ア記に具体的に記入してください)
•	一齢者を対象としたごみ出し支援制度」の「声かけ」についてお尋ねします。新型コロナウ 「声かけ」の運用の変化についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェックをしてく
	コナウイルス禍以前は「声かけ」していたし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしている。
_	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしている。
	コナウイルス禍以前は「声かけ」していたが、新型コロナウイルス禍以後は「声かけ」をしていない。
新型コロ	
_	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください)
_	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。
その他 (219 . Q18	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッ
その他(Q19 . Q18 新型コロナウ	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッ
その他(Q19 . Q18 新型コロナワンてくださり	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。
(219 . Q18 新型コロナリンでください 毎回、声	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 「下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。
(219 . Q18 新型コロナリンでください 毎回、声のでみが出 数回ごみが出	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 「下記に具体的に記入してください) ・で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッシン。 「おけを行っていた。 日かけを行っていた。
(219 . Q18 新型コロナリンでください 毎回、声のでみが出 数回ごみが出	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッシン。 。 おかけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 おが出ていない場合に、声かけを行っていた。
(219 . Q18 新型コロナリンでください 毎回、声のでみが出 数回ごみが出	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッシン。 。 おかけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 おが出ていない場合に、声かけを行っていた。
(2) その他((2) (2) (3) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 。かけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 なが出ていない場合に、声かけを行っていた。 「下記に具体的に記入してください)
(219 . Q18) (MT) (MT	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 まかけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 まが出ていない場合に、声かけを行っていた。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。
Q19 . Q18 M型 つけい 毎回、声	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 おかけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 おか出ていない場合に、声かけを行っていた。 「下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッ
Q19 . Q18 M型 て 毎回、声 でみがい 数回ごみ での他(コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) ・で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 がけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 が出ていない場合に、声かけを行っていた。 「下記に具体的に記入してください) ・で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッ
Q19 . Q18 の他(Q19 . Q18 では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、) では、)	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 「下記に具体的に記入してください) ・で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 「おけを行っていた。 はていない時は、毎回声がけを行っていた。 「お出ていない場合に、声がけを行っていた。 「下記に具体的に記入してください) ・で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。
(20 - Q18) (20	コナウイルス禍以前は「声かけ」していなかったし、新型コロナウイルス禍以後も「声かけ」をしていない。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以前の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 おけを行っていた。 出ていない時は、毎回声かけを行っていた。 なか出ていない場合に、声かけを行っていた。 下記に具体的に記入してください) . で、「新型コロナウイルス禍以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。 ウイルス禍以後の「声かけ」の方法についてお尋ねします。該当する選択肢1つにチェッい。 おかけを行っている。

「声かけ」行う際の新型コロナウイル	別後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。 、ス禍対策についてお尋ねします。該当する選択肢全てにチェックを
して下さい。	6. 然,可知4. 佛宫 16. 似,元 · 吉以15. 仁 · 元 · 元
	ク等)の利用を徹底、強化して、声かけを行っている。
	ず、声での応答の確認のみを行っている。
	の保持を徹底した上で、声かけを行っている。
一 その他 (下記に具体的に記入してください	.^)
	別前に声かけを行っていた」と回答された方にお聞きします。 」 行う場所についてお尋ねします。該当する選択肢全てにチェッ ク
インターホン等を押したり、玄関外から	声かけをして、中にいる様子を確認した。
 玄関を開けて声かけをし、返答があれば	ごその場を去った (顔を合わせない) 。
	った(顔を合わせる)。
 利用者の身体状況によっては、玄関から	家の中に入り異常がないかを確認した。
利用者が共同住宅に居住している場合に	は、階段・廊下などでは声が響くため、玄関内で声かけをした。
──	~v)
	以後に声かけを行っている」と回答された方にお聞きします。
新型コロナウイルス禍以後の「声かけ をして下さい。	」行う場所についてお尋ねします。該当する選択肢全てにチェッ <i>ク</i>
インターホン等を押したり、玄関外から	声かけをして、中にいる様子を確認している。
玄関を開けて声かけをし、返答があれば	ざその場を去っている(顔を合わせない)。
玄関で利用者と顔を合わせて声かけを行	っている(顔を合わせる)。
利用者の身体状況によっては、玄関から	家の中に入り異常がないかを確認している。
利用者が共同住宅に居住している場合に	は、階段・廊下などでは声が響くため、玄関内で声かけをしている。
その他 (下記に具体的に記入してください	· ·)

3. 自然災害によるごみ収集への影響について

すべての自治体の方	にお尋ねします
* Q24.貴自治体 てください。	本では、災害廃棄物処理計画を策定していますか。該当する選択肢1つにチェックをし
─ 策定している	⇒ Q25.へお進みください。
─ 策定していない	い ⇒ Q26.へお進みください。
	定している」と回答された方にお聞きします。 「を策定した年月日を記入して下さい。
年(西暦4桁)	
月	
以降の自然災害 <i>の</i> をしてください。	
	震災(平成7年1月)
_	震 (平成16年10月)
_	(平成23年3月)
	害(平成26年8月)
熊本地震 (平原	
平成28年台風第	第10号(北海道、岩手県)(平成28年8月)
平成28年鳥取り	県中部地震(平成28年10月)
一 平成29年7月九	L州北部豪雨(平成29年7月)
平成30年7月豪	· 「阿山県、広島県、愛媛県)(平成30年7月)
北海道胆振東語	部地震(平成30年9月)
令和元年房総=	半島台風 ・東日本台風 (令和元年9月□10月)
令和2年7月	豪雨(令和2年7月)
─ 被災はしていフ	ない ⇒ このページの最下部にある「次へ」ボタンを押して、Q36.へお進みください。
I	本では、Q26 . で選んだ自然災害の発生後、初動対応ができましたか。該
当する選択肢に	1つにチェックをしてください。
○ よくできた	○ あまりできなかった
○ まあまあでき ₇	たできなかった
(どちらともい	えない

Q28. Q27. でご回答した理由についてお尋ねします。下記に、ご自由にお書きくだ
さい。
Q29.貴自治体では、Q26.で選んだ自然災害の発生後、「生活ごみの収集」を中断し
た期間がありましたか。該当する選択肢1つにチェックをしてください。
全域で中断した ⇒ Q30.へお進みください。
一部地域で中断した ⇒ Q30. へお進みください。
中断しなかった ⇒ Q32.へお進みください。
Q30 . Q29 . で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。
「生活ごみの収集」の再開に何日を要しましたか。日数をご記入下さい。
再開までの日数:
Q31 . Q29 . で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。
「生活ごみの収集」の再開において、課題は何でしたか。該当する選択肢全てにチェックをして下さい。
収集運搬員が不足した。
収集運搬車両が不足した。
収集運搬車両の運行ができなかった。
収集運搬車両の運行ルートを変更せざるを得なかった。
生活ごみを出すべきステーションが災害廃棄物で一杯になっていた。
その他 (下記に具体的に記入してください)
Q32.貴自治体では、Q26.で選択したの自然災害の発生後、「高齢者ごみ出し支援事
業」を中断した期間がありましたか。該当する選択肢1つにチェックをしてくださ
U.
全域で中断した ⇒ Q33.へお進みください。
────────────────────────────────────
ー 中断しなかった → Q35.へお進みください。
被災当時は高齢者ごみ出し支援事業を実施していなかった ⇒ このページの最下部にある「次へ」ボタンを押して、 Q36.へお進みください。
Q33 . Q32 . で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。
高齢者ごみ出し支援事業の再開に何日を要しましたか。日数をご記入下さい。
再開までの日数:

Q34 . Q32 . で「全域で中断した」あるいは「一部地域で中断した」と回答された方にお聞きします。
「高齢者ごみ出し支援事業」の再開において、課題は何でしたか。該当する選択肢全てにチェックをし
下さい。
収集運搬員が不足した。 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・
収集運搬車両が不足した。
収集運搬車両の運行ができなかった。
収集運搬車両の運行ルートを変更せざるを得なかった。
生活ごみを出すべきステーションが災害廃棄物で一杯になっていた。
── その他 (下記に具体的に記入してください)
Q35. 甚大な自然災害の体験により、「高齢者のごみ出し支援事業」の再開に対して示唆されることについて、下記に具体的に記入してください。

4. 最後に回答者様自身のことをお尋ねします。

最後までアンケートにご協力賜り、誠に有難うございました!!

Q36.ご回答者様についてお尋ねします。下記に可能な限りご記入ください。

貴自治体名:	
ご回答者氏名:	
電話番号:	
メールアドレス:	